

第4章 集計・分析

1 あなた自身について

(1) 居住地（地域）

問1 あなたは、どこにお住まいですか。下表から町名番号を選びご記入ください。
※町別データを6地域に区分しています。

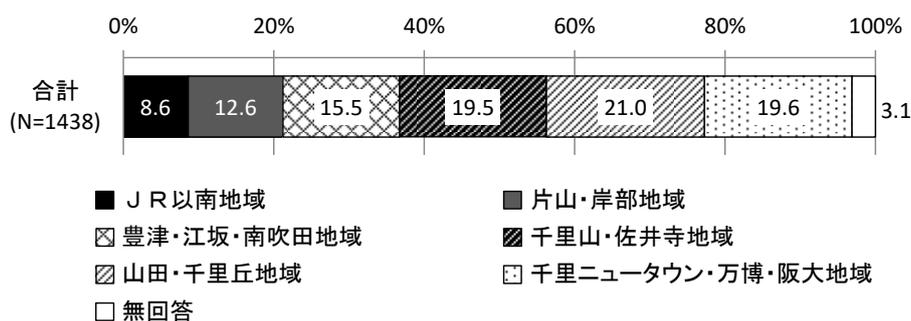


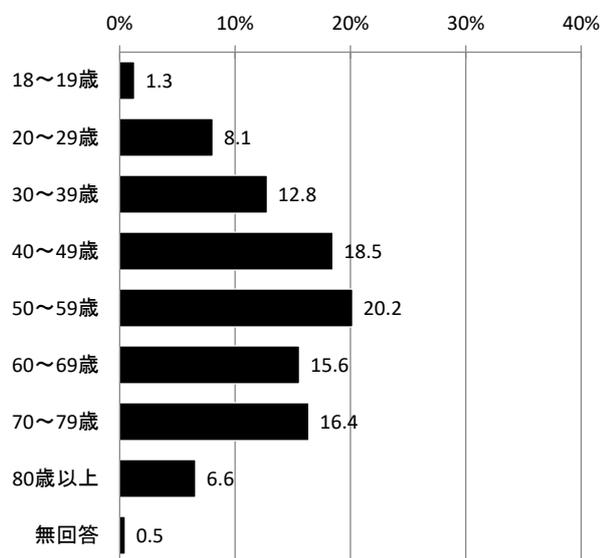
表 町と地域との対応

地域	町名	地域	町名	地域	町名	地域	町名	地域	町名	地域	町名
JR以南地域	朝日町	片山・岸部地域	朝日が丘町	豊津・江坂・南吹田地域	泉町	千里山・佐井寺地域	江坂町5丁目	山田・千里丘地域	青葉丘北	千里ニュータウン・万博・阪大地域	青山台
	内本町		片山町		江坂町1~4丁目		春日		青葉丘南		上山田
	川岸町		上山手町		江の木町		佐井寺		樫切山		佐竹台
	川園町		岸部北		金田町		佐井寺南が丘		清水		千里万博公園
	寿町		岸部新町		垂水町		五月が丘北		尺谷		高野台
	幸町		岸部中		豊津町		五月が丘西		新芦屋上		竹見台
	昭和町		岸部南	広芝町	五月が丘東		新芦屋下		津雲台		
	吹東町		芝田町	穂波町	五月が丘南		千里丘上		藤白台		
	末広町		出口町	南金田	千里山霧が丘		千里丘北		古江台		
	清和園町		天道町	南吹田1~2丁目	千里山高塚		千里丘下		桃山台		
	高城町	西の庄町	南吹田3~5丁目	千里山竹園	千里丘中	山田丘					
	高浜町	原町	芳野町	千里山月が丘	千里丘西						
	中の島町	藤が丘町		千里山西	長野西						
	西御旅町	山手町		千里山虹が丘	長野東						
	東御旅町			千里山東	山田市場						
	日の出町			千里山星が丘	山田北						
	平松町			千里山松が丘	山田西						
	南正雀			竹谷町	山田東						
	南清和園町			円山町	山田南						
	南高浜町										
目懐町											
元町											

居住地については、「JR以南地域」(8.6%)、「片山・岸部地域」(12.6%)、「豊津・江坂・南吹田地域」(15.5%)、「千里山・佐井寺地域」(19.5%)、「山田・千里丘地域」(21.0%)、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」(19.6%)、「無回答」(3.1%)となっています。

(2) 年齢

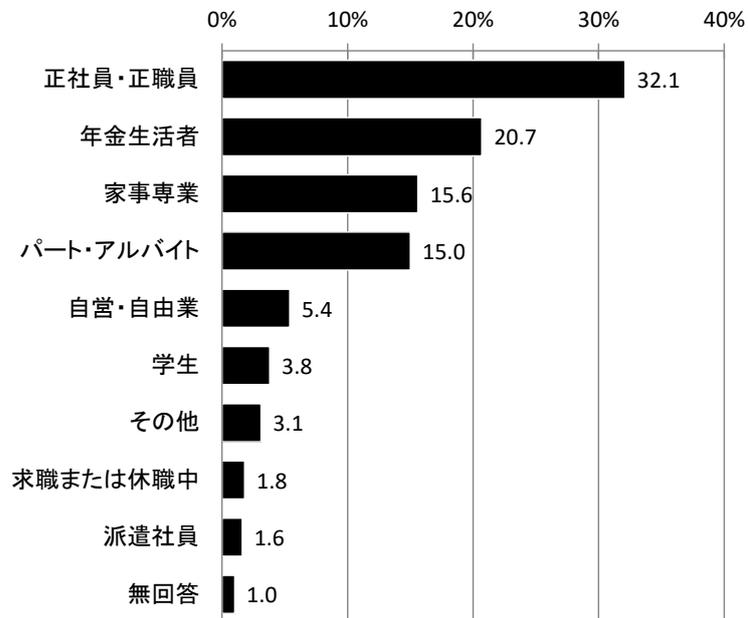
問2 あなたは令和3年（2021年）6月30日現在、何歳ですか。（○は1つ）



年齢については、「18～49歳」は40.7%、「50～69歳」は35.8%、「70歳以上」の高齢者は23.0%となっています。

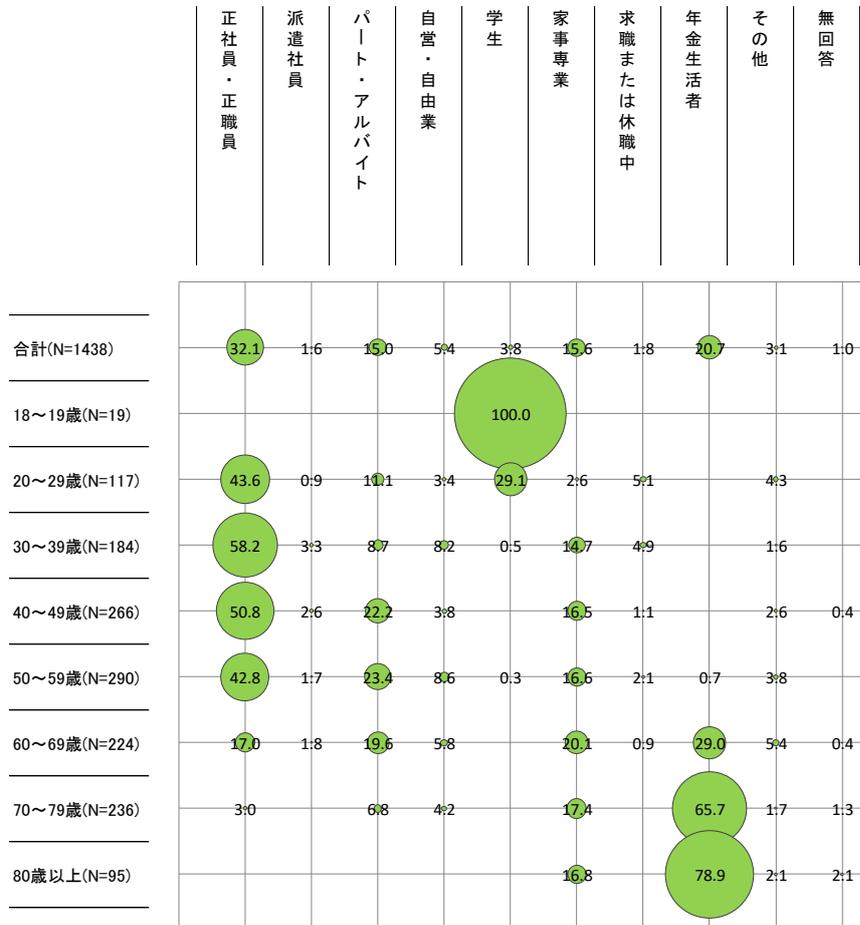
(3) 職業

問3 あなたの主な職業は次のどれにあたりますか。(○は1つ)



職業については、高い順に、「正社員・正職員」(32.1%)、「年金生活者」(20.7%)、「家事専業」(15.6%)、「パート・アルバイト」(15.0%)、「自営・自由業」(5.4%)、「学生」(3.8%)、「その他」(3.1%)、「求職または休職中」(1.8%)、「派遣社員」(1.6%)、「無回答」(1.0%)となっています。

問3 (年齢別) 職業



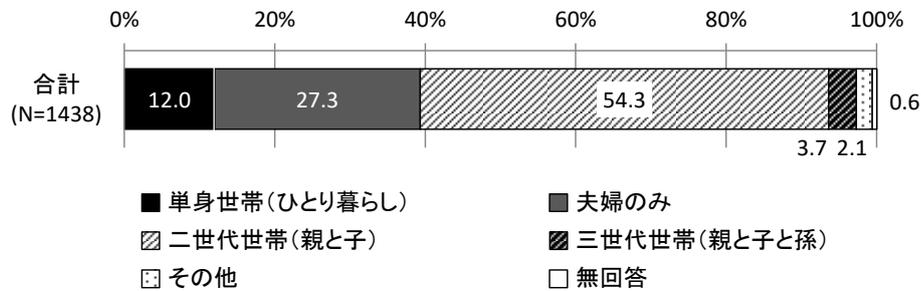
【年齢別】

年齢別に主な職業をみると、「18~19歳」では「学生」(100.0%)、「20~59歳」では「正社員・正職員」(42.8~58.2%)、「70歳以上」では「年金生活者」(65.7~78.9%)となっています。

また、「40~69歳」では「パート・アルバイト」が約19~23%あり、「30~80歳」では「家事専業」が約14~20%あります。

(4) 世帯構成

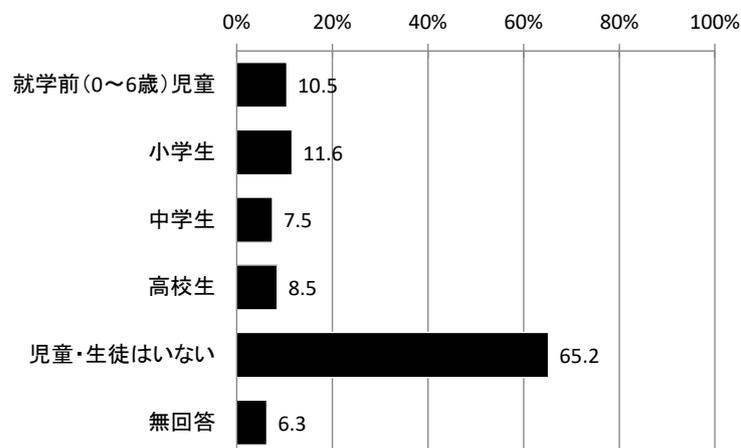
問4 あなたの世帯の構成（同居のみ）は。（○は1つ）



世帯構成については、「単身世帯(ひとり暮らし)」（12.0%）、「夫婦のみ」（27.3%）、「二世帯世帯(親と子)」（54.3%）、「三世帯世帯(親と子と孫)」（3.7%）、「その他」（2.1%）、「無回答」（0.6%）となっています。

(5) 同居の児童・生徒

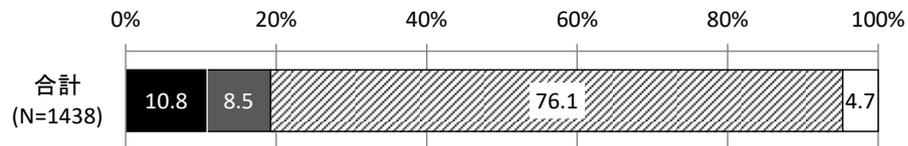
問5 あなたと同居されている児童・生徒はおられますか。（○はいくつでも）



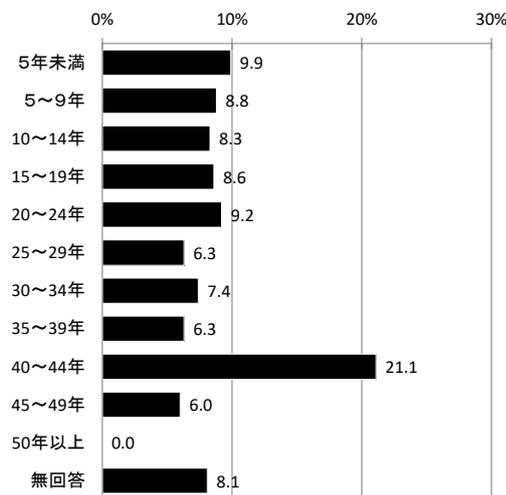
同居の児童・生徒については、「就学前(0～6歳)児童」（10.5%）、「小学生」（11.6%）、「中学生」（7.5%）、「高校生」（8.5%）、「児童・生徒はいない」（65.2%）、「無回答」（6.3%）となっています。

(6) 吹田市への居住方法

問6 あなたは吹田市にどのようにして居住されましたか。(○は1つ)
吹田市に延べ何年お住まいですか。(延べ居住年数をご記入ください)



- 生まれてから現在まで吹田市に居住している
- 吹田市で生まれたが、途中、他市町村に転居したことがある
- ▨ 他市町村から吹田市に転居した
- 無回答



① 居住方法

居住方法については、「生まれてから現在まで吹田市に居住している」(10.8%)、「吹田市で生まれたが、途中、他市町村に転居したことがある」(8.5%)、「他市町村から吹田市に転居した」(76.1%)、「無回答」(4.7%)となっています。

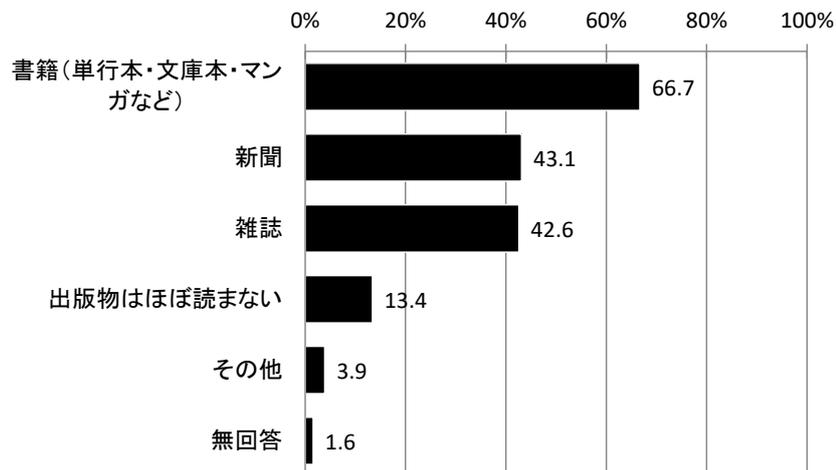
② 延べ居住年数

延べ居住年数については、「5年未満」(9.9%)、「5～9年」(8.8%)、「10～14年」(8.3%)、「15～19年」(8.6%)、「20～24年」(9.2%)、「25～29年」(6.3%)、「30～34年」(7.4%)、「35～39年」(6.3%)、「40～44年」(21.1%)、「45～49年」(6.0%)、「50年以上」(0.0%)、「無回答」(8.1%)となっています。

2 読書習慣について

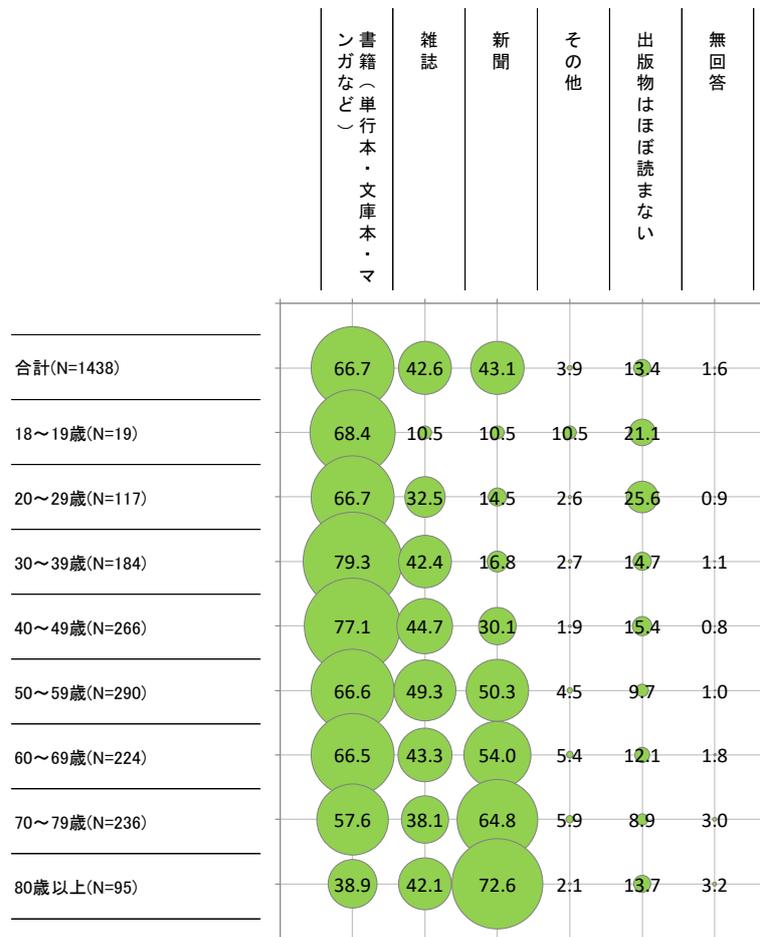
(1) 普段読書する出版物の形態

問7 普段読む出版物の形態は。(〇はいくつでも) ※電子書籍はのぞく



普段読書する出版物の形態については、高い順に、「書籍（単行本・文庫本・マンガなど）」（66.7%）、「新聞」（43.1%）、「雑誌」（42.6%）、「出版物はほぼ読まない」（13.4%）、「その他」（3.9%）、「無回答」（1.6%）となっています。

問7 (年齢別) 普段読む出版物の形態



【年齢別】

年齢別に普段読書する出版物の形態をみると、「書籍（単行本・文庫本・マンガなど）」は、「18～69歳」では約66%以上で、「70歳以上」ではやや低下しています。

「雑誌」は、「20歳以上」では約32%以上で、「18～19歳」（10.5%）は約21ポイント以上低くなっています。

「新聞」は、「80歳以上」（72.6%）が最も高く、年齢が低下するに従って低くなっています。

「出版物はほぼ読まない」は、「20～29歳」（25.6%）、「18～19歳」（21.1%）となっています。

(2) 読書する書籍・雑誌の1ヶ月の冊数

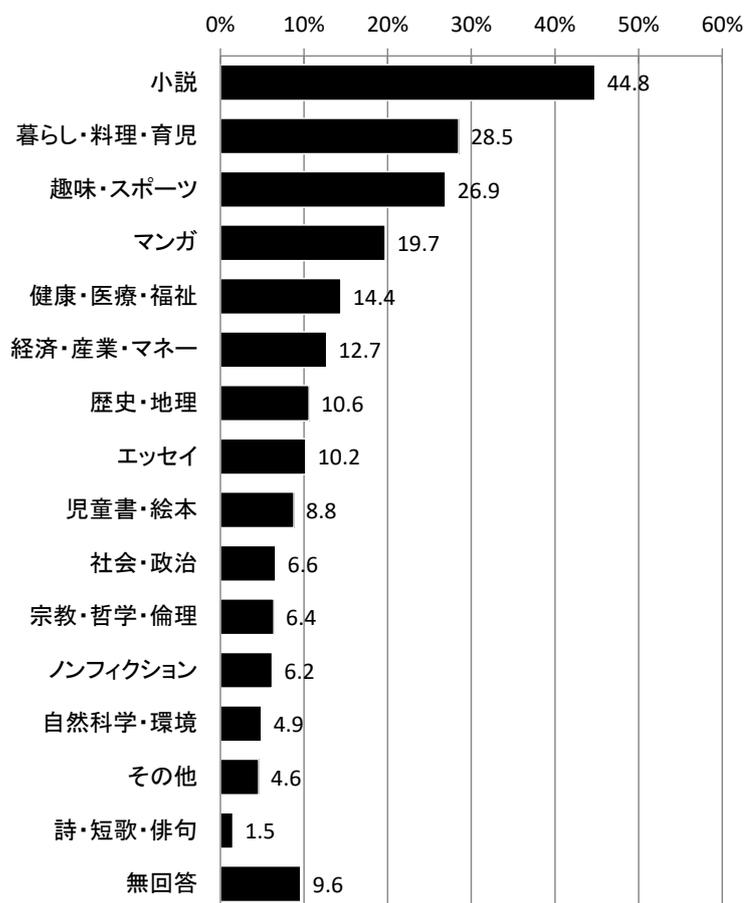
問7-1 1か月で読む書籍・雑誌の冊数は。(〇は1つ) ※電子書籍はのぞく



読書する書籍・雑誌の1ヶ月の冊数については、「1~3冊」(65.5%)、「4~9冊」(22.9%)、「10冊以上」(8.8%)、「無回答」(2.8%)となっています。

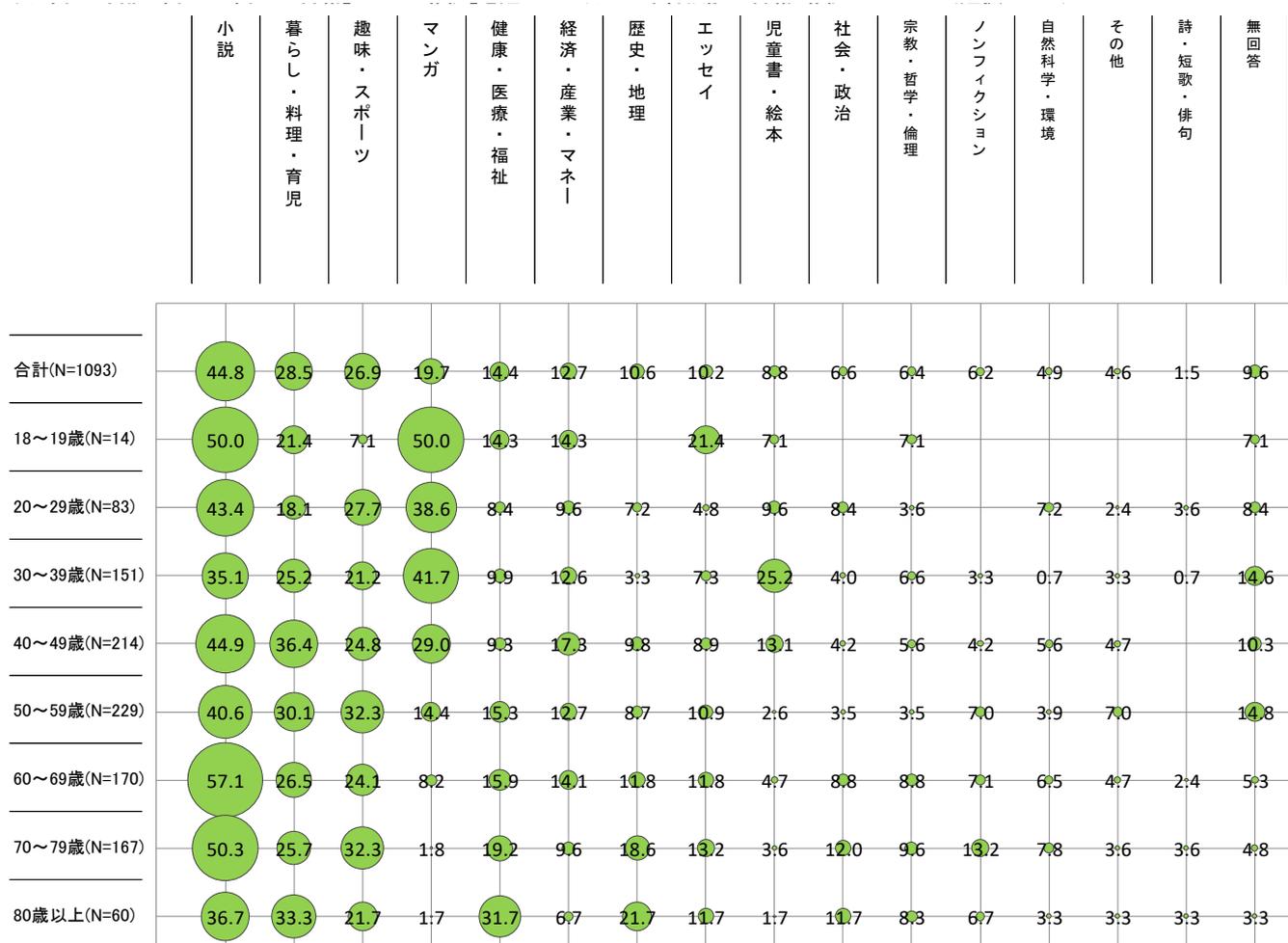
(3) 書籍・雑誌のジャンル

問7-2 普段読む書籍・雑誌のジャンルはどれですか。(○は3つ以内)
※電子書籍はのぞく



書籍・雑誌のジャンルについては、高い順位に、「小説」(44.8%)、「暮らし・料理・育児」(28.5%)、「趣味・スポーツ」(26.9%)、「マンガ」(19.7%)、「健康・医療・福祉」(14.4%)、「経済・産業・マネー」(12.7%)、「歴史・地理」(10.6%)、「エッセイ」(10.2%)、「児童書・絵本」(8.8%)、「社会・政治」(6.6%)、「宗教・哲学・倫理」(6.4%)、「ノンフィクション」(6.2%)、「自然科学・環境」(4.9%)、「その他」(4.6%)、「詩・短歌・俳句」(1.5%)、「無回答」(9.6%)となっています。

問7-2 (年齢別) 普段読む書籍・出版物のジャンル



【年齢別】

年齢別に書籍・雑誌のジャンルをみると、「小説」は「30~39歳」を除く各年齢で最も高くなっています。

「暮らし・料理・育児」は「40~59歳」「80歳以上」が約30%以上となっています。

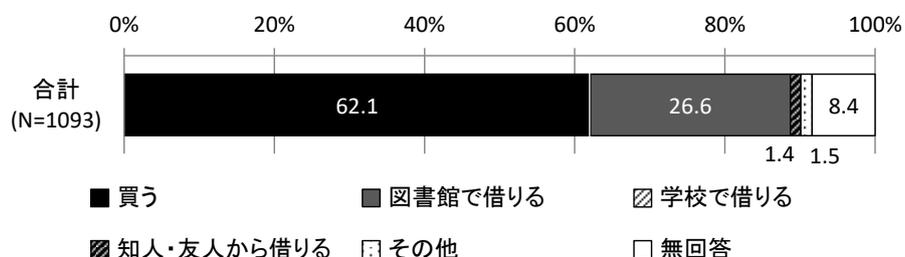
「マンガ」は「18~49歳」(29.0~50.0%)は他の年齢より高くなっています。

「健康・医療・福祉」は「80歳以上」(31.7%)「70~79歳」(19.2%)が他の年齢より高くなっています。

「児童書・絵本」は「30~39歳」(25.2%)が他の年齢より高くなっています。

(4) 書籍・雑誌の主な入手方法

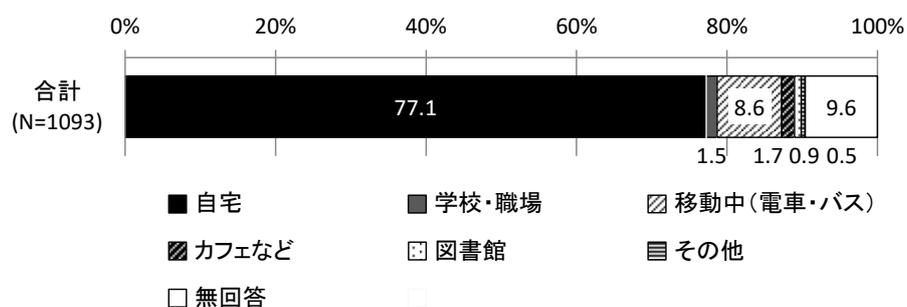
問7-3 書籍・雑誌を入手する主な方法は。(○は1つ) ※電子書籍はのぞく



書籍・雑誌の主な入手方法については、「買う」(62.1%)、「図書館で借りる」(26.6%)、「学校で借りる」(0.0%)、「知人・友人から借りる」(1.4%)、「その他」(1.5%)、「無回答」(8.4%)となっています。

(5) 書籍・雑誌を読書する主な場所

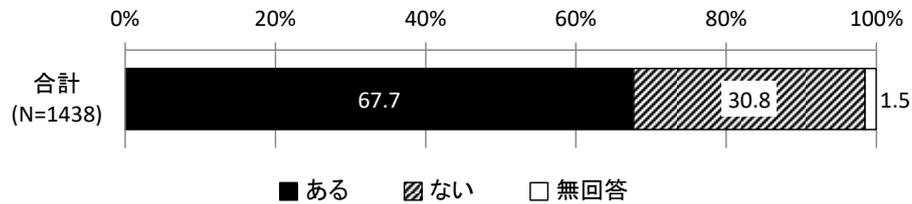
問7-4 書籍・雑誌は、主にどこで読まれますか。(○は1つ) ※電子書籍はのぞく



書籍・雑誌を読書する主な場所については、「自宅」(77.1%)、「学校・職場」(1.5%)、「移動中(電車・バス)」(8.6%)、「カフェなど」(1.7%)、「図書館」(0.9%)、「その他」(0.5%)、「無回答」(9.6%)となっています。

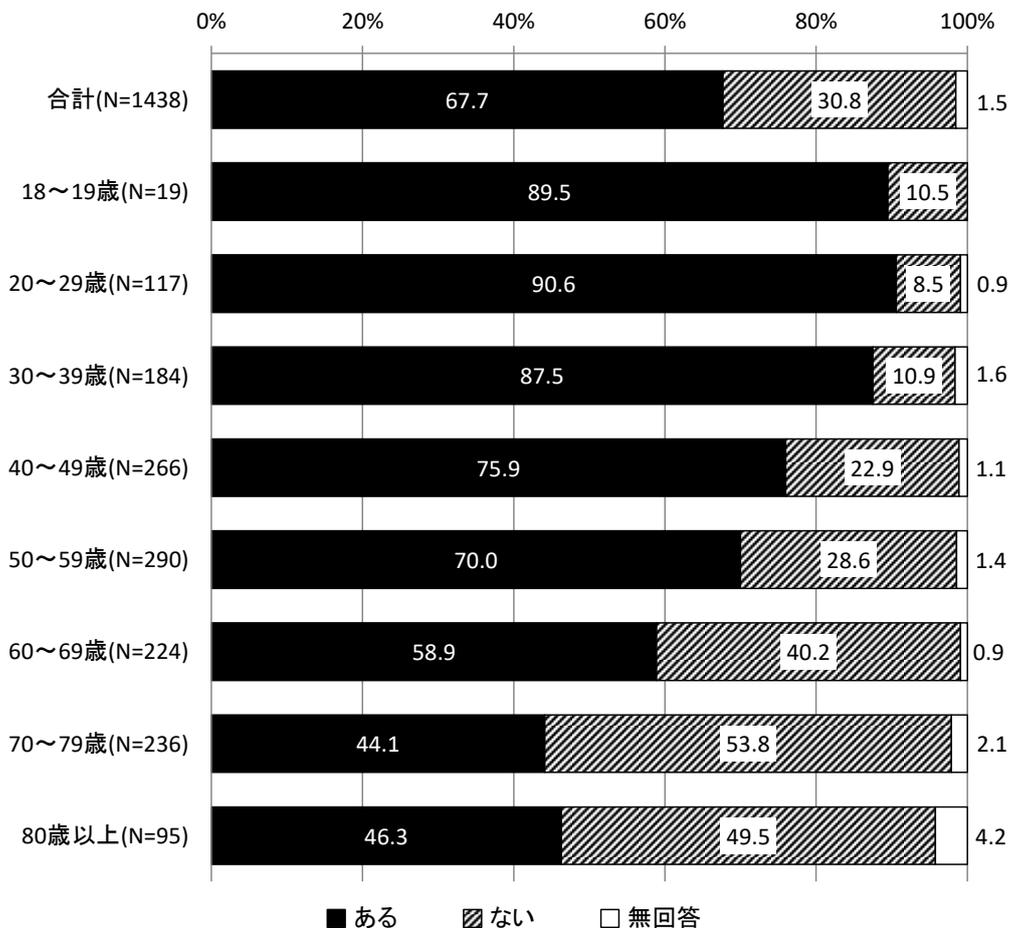
(6) 子供の頃の読み聞かせ体験

問8 子供の頃、家族や先生など身近な人から本を読んでもらった経験はありますか。



子供の頃の読み聞かせ体験については、「ある」(67.7%)、「ない」(30.8%)、「無回答」(1.5%)となっています。

問8 (年齢別) 子供の頃、家族や先生など身近な人から本を読んでもらった経験

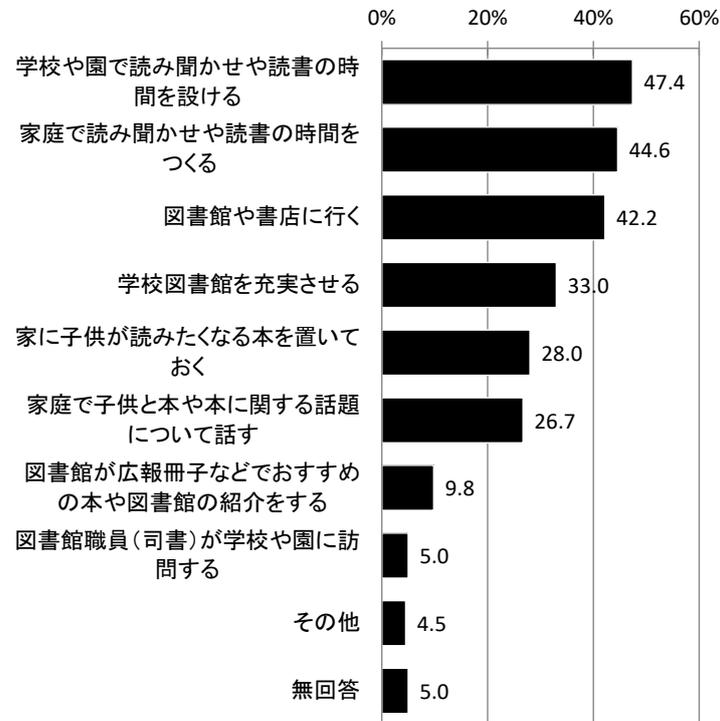


【年齢別】

子供の頃の読み聞かせ体験が「ある」について、年齢別にみると、18～29歳は約90%ですが、年齢が高くなるに従って割合は低くなっており、70～79歳では44.1%となっています。

(7) 子供が読書習慣を身につけるために重要なこと

問9 吹田市では、子供の読書活動を推進するために様々な事業に取り組んでいます。子供が読書の習慣を身につけるために、何が重要だと思いますか。(○は3つ以内)



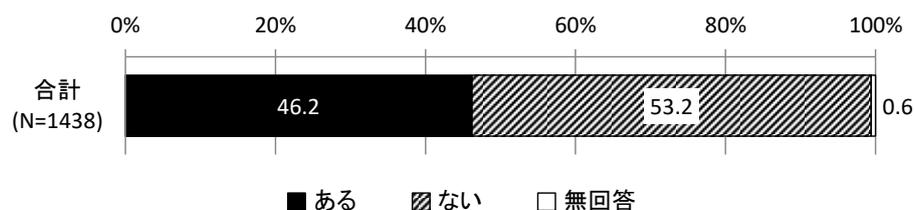
子供が読書習慣を身につけるために重要なことについては、高い順に、「学校や園で読み聞かせや読書の時間を設ける」(47.4%)、「家庭で読み聞かせや読書の時間をつくる」(44.6%)、「図書館や書店に行く」(42.2%)、「学校図書館を充実させる」(33.0%)、「家に子供が読みたくなる本を置いておく」(28.0%)、「家庭で子供と本や本に関する話題について話す」(26.7%)となっています。

このように学校や家庭は、子供が読書習慣を身につけるために重要な役割を担っており、家庭での読書教育などの相談や助言など図書館の支援が期待されているところです。

3 電子書籍について

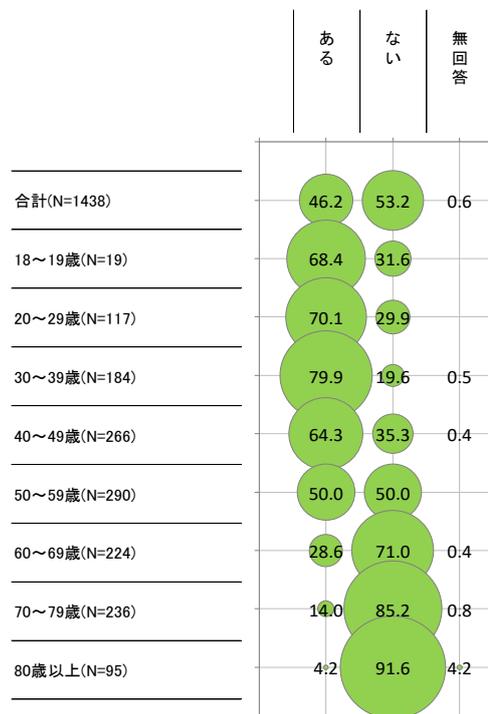
(1) 電子書籍の読書経験

問10 今まで電子書籍※を読んだことがありますか。(○は1つ)
 ※パソコンやスマートフォンなどの電子端末機器で読むことのできるデジタルデータ化された書籍。



電子書籍の読書経験については、「ある」(46.2%)、「ない」(53.2%)、「無回答」(0.6%)となっています。

問10 (年齢別) 電子書籍の読書経験

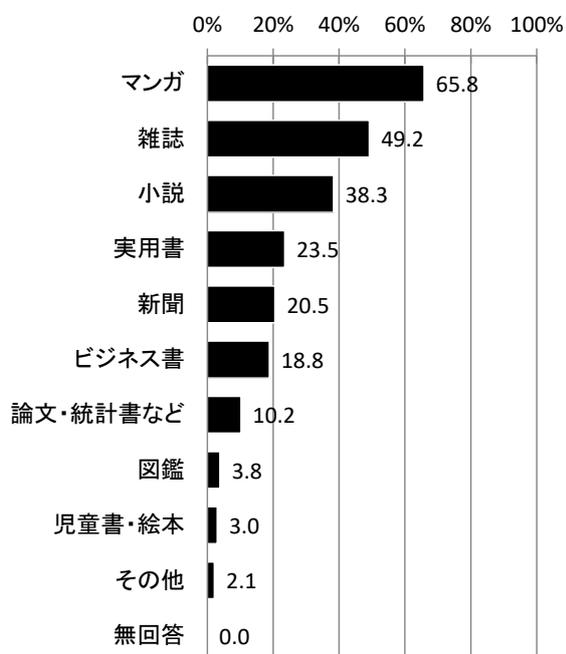


【年齢別】

年齢別に電子書籍の読書経験をみると、「ある」は「18~59歳」が50%以上であるのに対して「60歳以上」は約29%未満となっています。

(2) 電子書籍のジャンル (N=664)

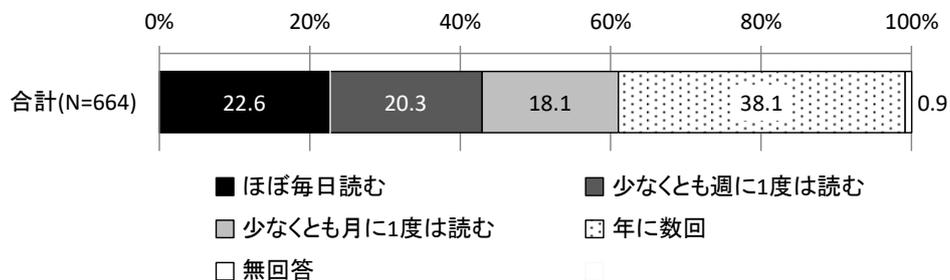
問10-1 どんなジャンルの電子書籍を読んだことがありますか。(○はいくつでも)



電子書籍のジャンルについては、高い順に、「マンガ」(65.8%)、「雑誌」(49.2%)、「小説」(38.3%)、「実用書」(23.5%)、「新聞」(20.5%)、「ビジネス書」(18.8%)、「論文・統計書など」(10.2%)となっています。

(3) 電子書籍の読書の頻度

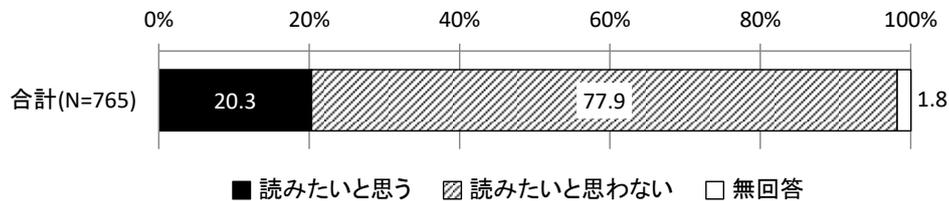
問10-2 電子書籍をどのくらいの頻度(ひんど)で読みますか。(○は1つ)



電子書籍の読書の頻度については、「ほぼ毎日読む」(22.6%)、「少なくとも週に1度は読む」(20.3%)、「少なくとも月に1度は読む」(18.1%)、「年に数回」(38.1%)、「無回答」(0.9%)となっています。

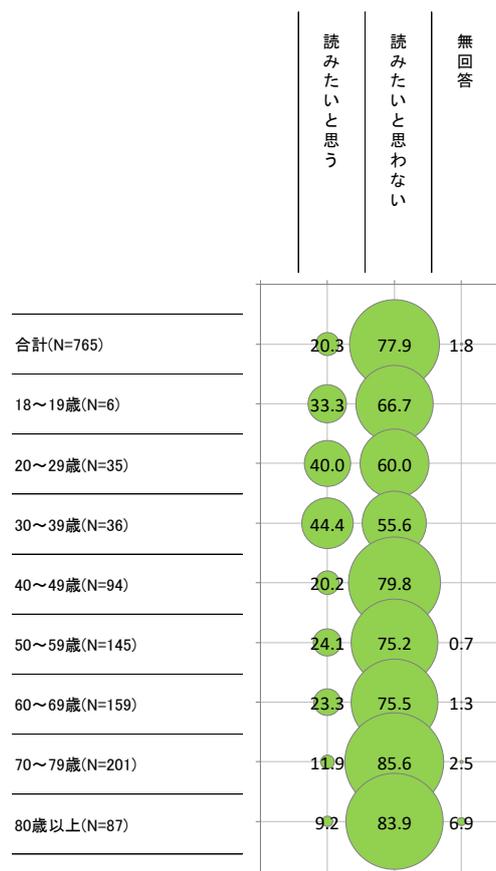
(4) 電子書籍の読書が未経験の方の今後の読書意向

問10-3 電子書籍を読んだことがない方におたずねします。今後、読みたいと思われ
ますか。



電子書籍の読書が未経験の方の今後の読書意向については、「読みたいと思う」
(20.3%)、「読みたいと思わない」(77.9%)、「無回答」(1.8%)となっています。

問10-3 (年齢別) 電子書籍の今後の意向

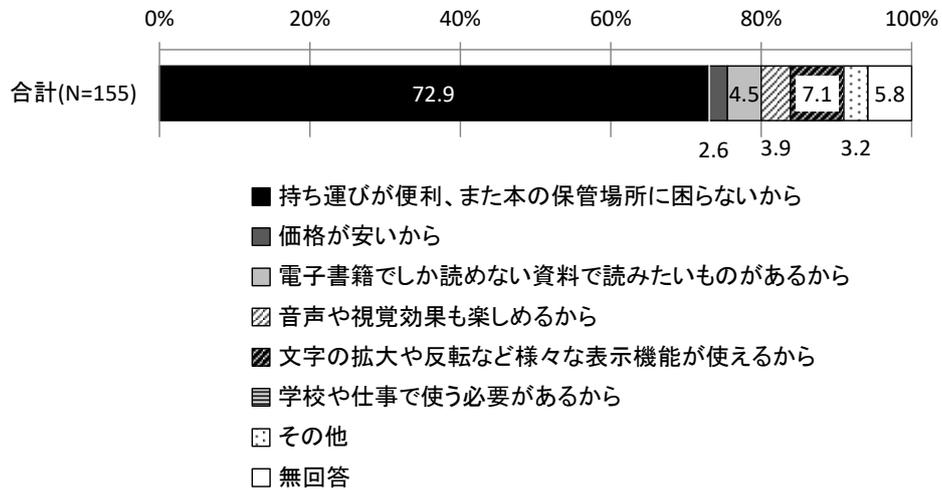


【年齢別】

年齢別に電子書籍の今後の読書意向をみると、「読みたいと思わない」は「40歳以上」では約75%以上となっています。

(5) 電子書籍を読書する理由

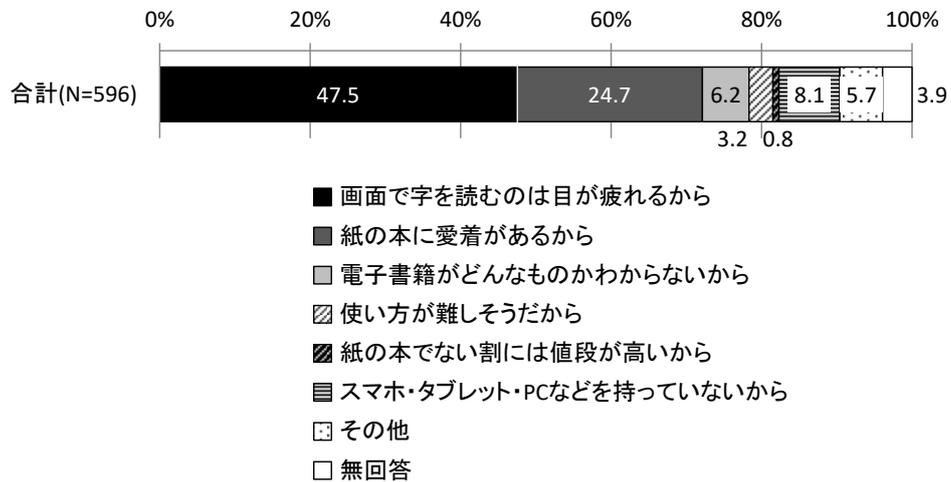
問10-4 電子書籍を読みたいと思う主な理由はどれですか。(○は1つ)



電子書籍を読書する理由については、高い順に、「持ち運びが便利、また本の保管場所に困らないから」(72.9%)、「文字の拡大や反転など様々な表示機能が使えるから」(7.1%)、「電子書籍でしか読めない資料で読みたいものがあるから」(4.5%)となっています。

(6) 電子書籍の読書を今後も読まない理由

問10-5 問10-3で「2. 読みたいと思わない」を選ばれた方のみにおたずねします。読みたいと思わない、主な理由はどれですか。(〇は1つ)

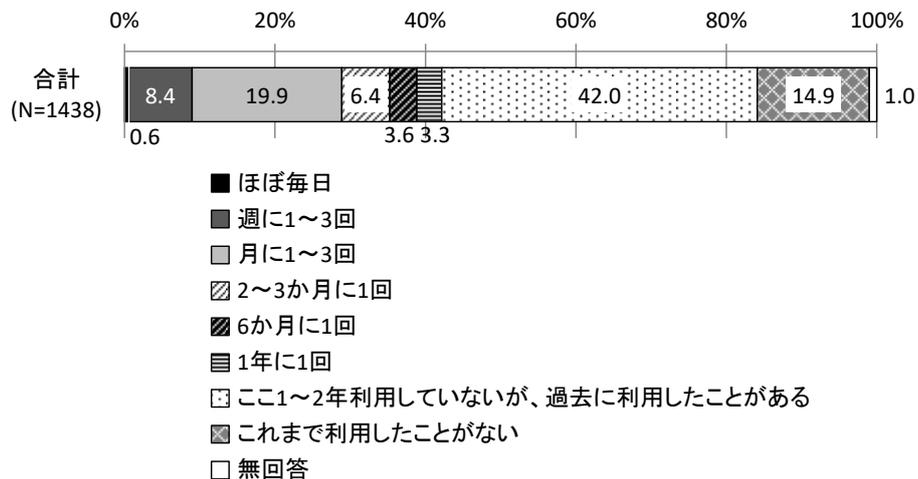


電子書籍の読書を今後も読まない理由については、「画面で字を読むのは目が疲れるから」(47.5%)、「紙の本に愛着があるから」(24.7%)、「スマホ・タブレット・PCなどを持っていないから」(8.1%)となっています。

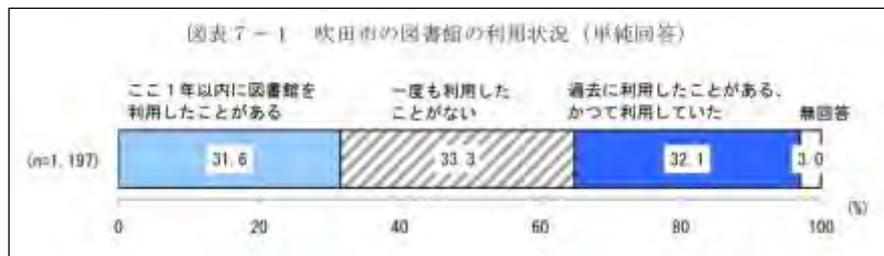
4 図書館利用について

(1) 図書館の利用頻度

問11 吹田市内外を問わず、図書館の利用頻度は。(○は1つ)



【参考】



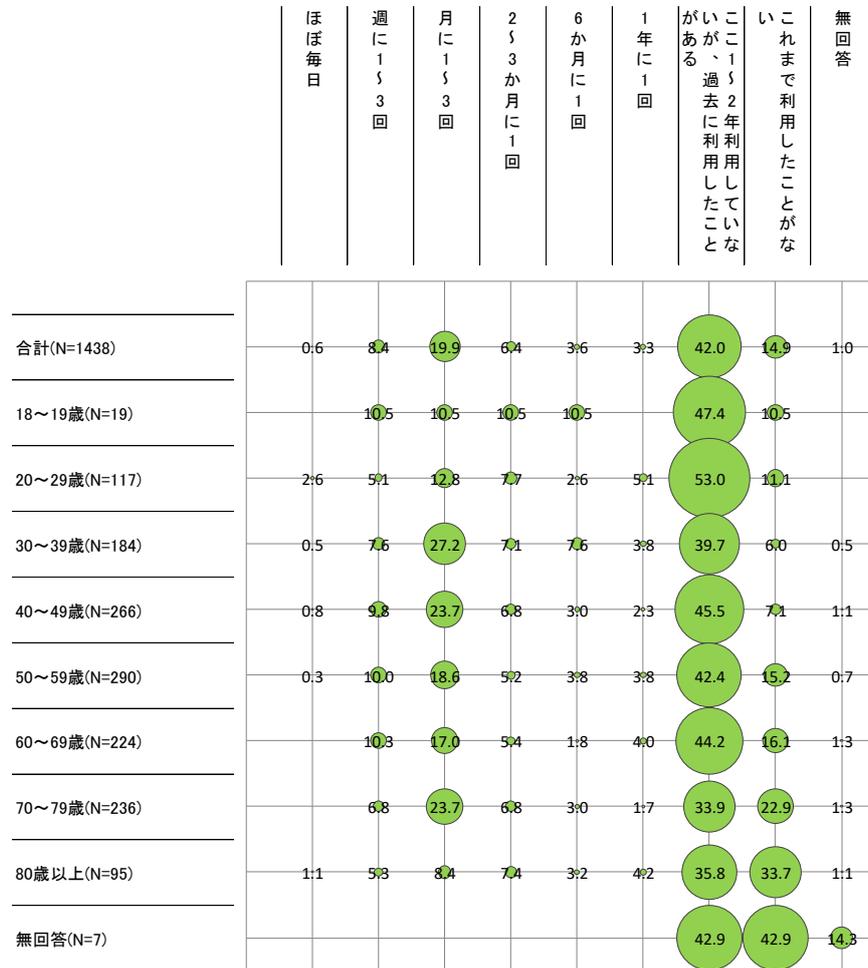
資料：「平成28年度市政モニタリング調査の結果」（平成29年（2017年）3月）

図書館の利用頻度については、「ほぼ毎日」（0.6%）、「週に1~3回」（8.4%）、「月に1~3回」（19.9%）を合わせて28.9%が定期的に利用しています。

「2~3か月に1回」（6.4%）、「6か月に1回」（3.6%）、「1年に1回」（3.3%）を合わせた13.3%がときどき利用しています。

「ここ1~2年利用していないが、過去に利用したことがある」図書館の利用経験者は42.0%で、「これまで利用したことがない」は14.9%となっています。

問 11 (年齢別) 図書館の利用頻度

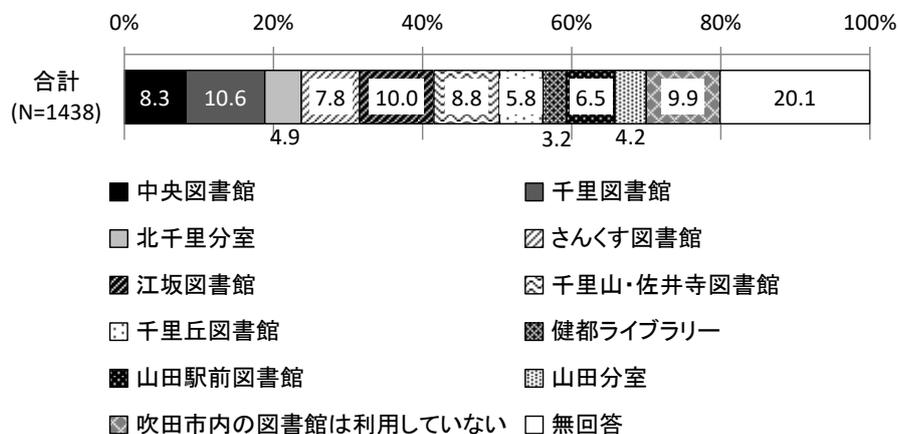


【年齢別】

年齢別に利用頻度をみると、「ほぼ毎日」から「月に1~3回」のよく利用する人の割合は、18~29歳層では20%前後、30~49歳層では35%前後ですが、50~79歳層は30%前後とやや低下し、80歳以上は15%程度となっています。

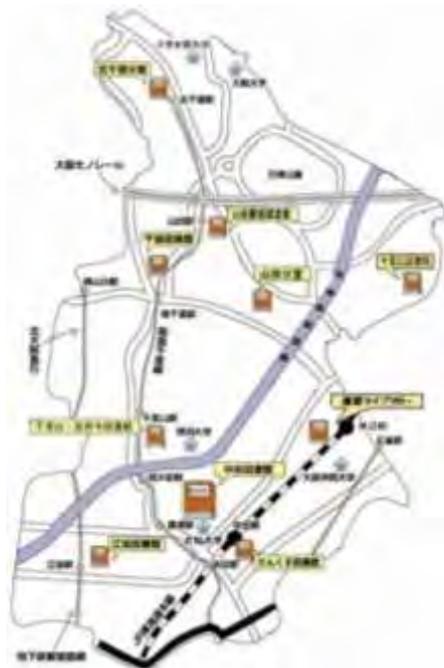
(2) 市内で主に利用する図書館

問12 吹田市内で主に利用する図書館は。(○は1つ)



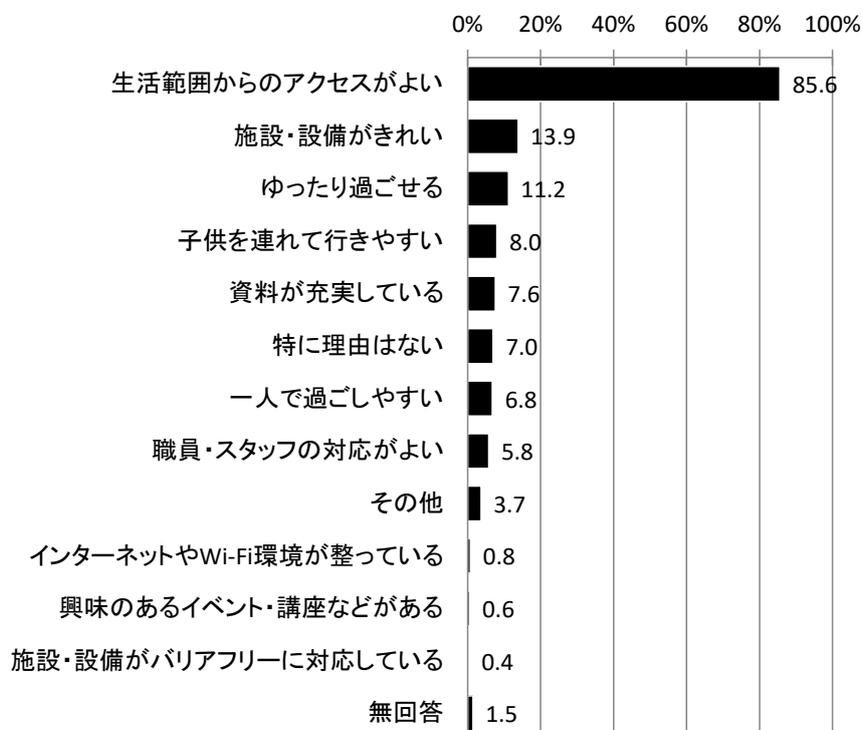
市内で主に利用する図書館については、「中央図書館」(8.3%)、「千里図書館」(10.6%)、「北千里分室」(4.9%)、「さんくす図書館」(7.8%)、「江坂図書館」(10.0%)、「千里山・佐井寺図書館」(8.8%)、「千里丘図書館」(5.8%)、「健都ライブラリー」(3.2%)、「山田駅前図書館」(6.5%)、「山田分室」(4.2%)、「吹田市内の図書館は利用していない」(9.9%)、「無回答」(20.1%)となっています。

「市内で主に利用する図書館」を回答したのは1007人です。



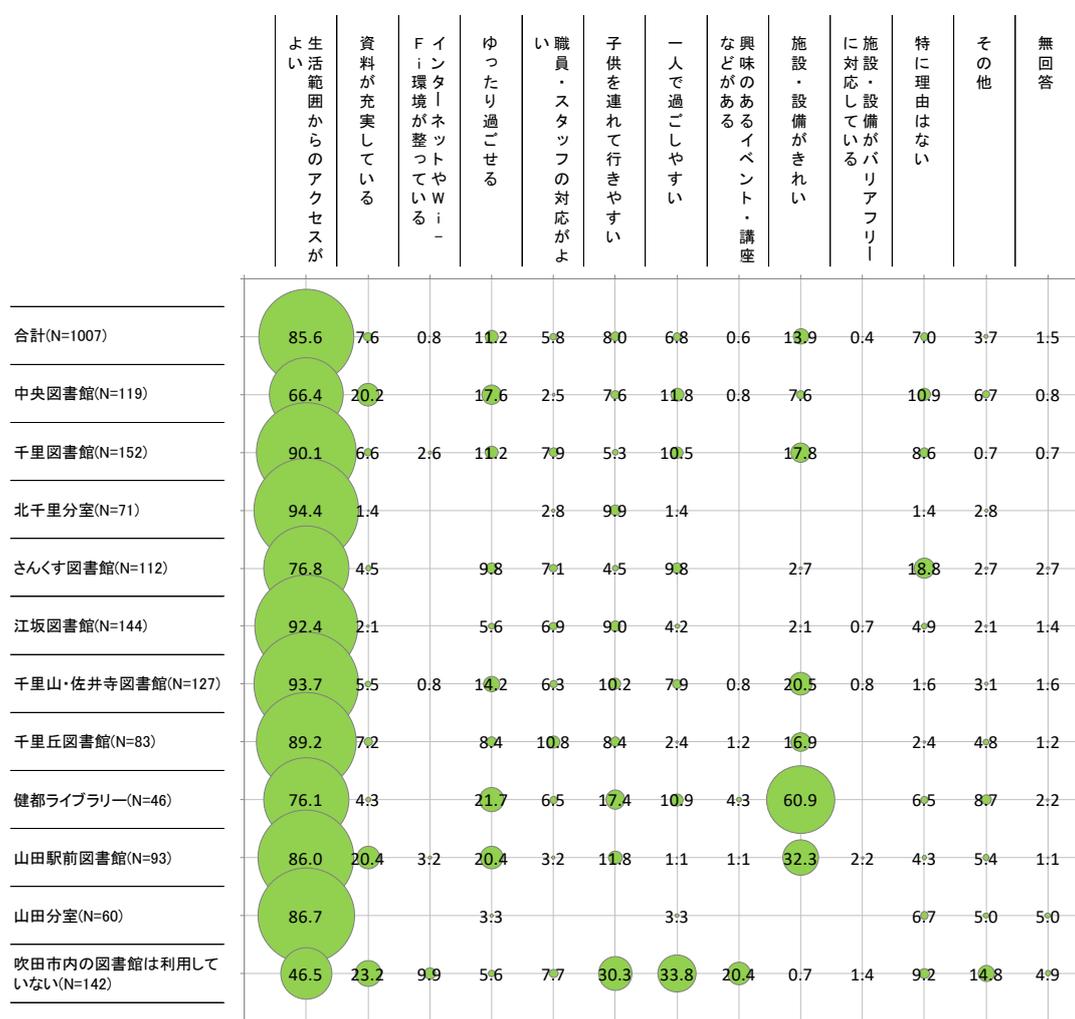
(3) 主に利用する図書館を選んだ理由

問12-1 問12で選ばれた図書館を利用する理由は。(○は3つ以内) (N=1007)



主に利用する図書館を選んだ理由については、「生活範囲からのアクセスがよい」(85.6%)が最も高く、「施設・設備がきれい」(13.9%)、「ゆったり過ごせる」(11.2%)、「子供を連れて行きやすい」(8.0%)、「資料が充実している」(7.6%)、「特に理由はない」(7.0%)、「一人で過ごしやすい」(6.8%)、「職員・スタッフの対応がよい」(5.8%)となっています。

問12-1 (主に利用する図書館別) 図書館を利用する理由



【主に利用する図書館別】

図書館別に主に利用する図書館を選んだ理由をみると、すべての図書館が「生活範囲からのアクセスがよい」が最も高くなっています。

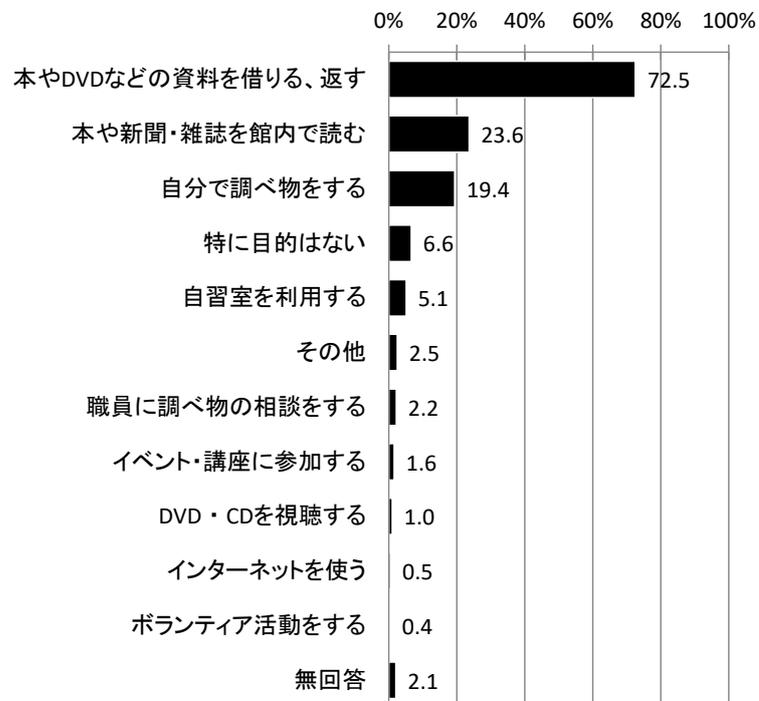
「資料が充実している」では、「山田駅前図書館」(20.4%)、「中央図書館」(20.2%)と他の図書館より高くなっています

「施設・設備がきれい」では、「健都ライブラリー」(60.9%)、「山田駅前図書館」(32.3%)、「千里山・佐井寺図書館」(20.5%)と他の図書館より高くなっています。

「ゆったり過ごせる」では、「健都ライブラリー」(21.7%)、「山田駅前図書館」(20.4%)、「中央図書館」(17.6%)、「千里山・佐井寺図書館」(14.2%)と他の図書館より高くなっています。

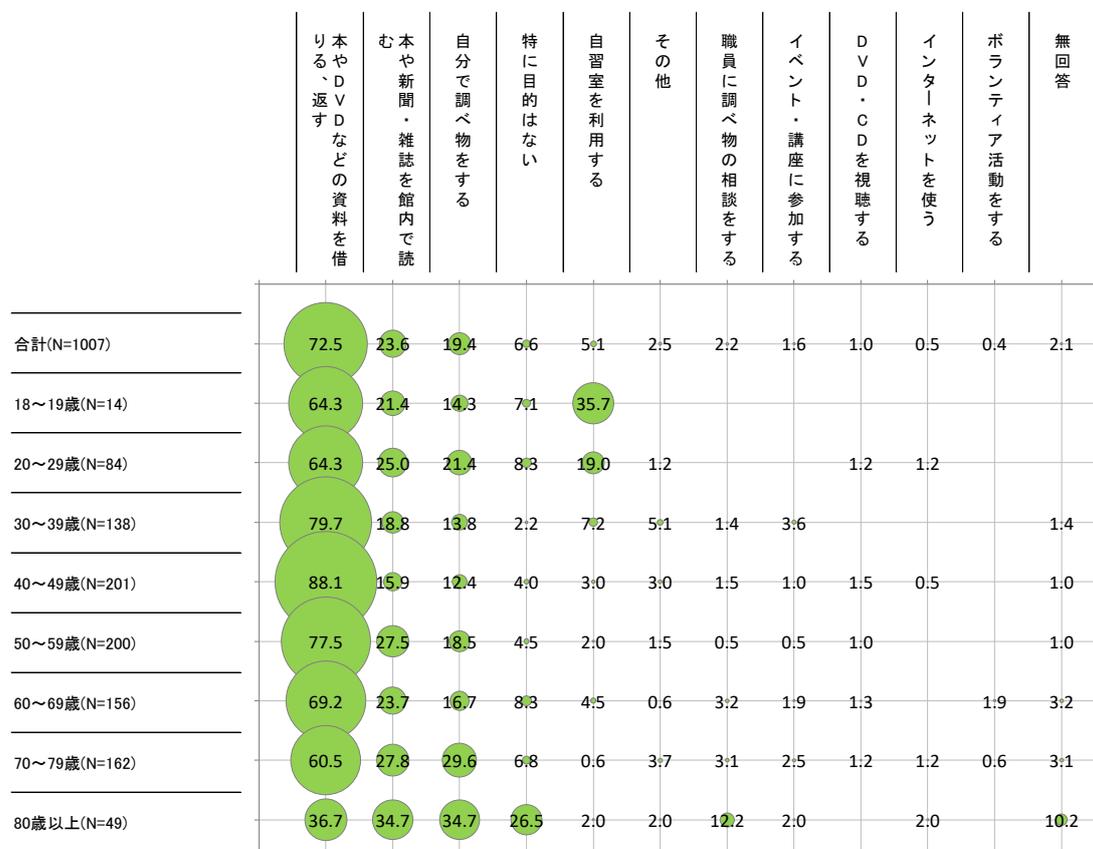
(4) 図書館の利用目的

問12-2 問12で選ばれた図書館の利用目的は。(〇は3つまで) (N=1007)



図書館の利用目的については、高い順に、「本やDVDなどの資料を借りる、返す」(72.5%)、「本や新聞・雑誌を館内で読む」(23.6%)、「自分で調べ物をする」(19.4%)、「特に目的はない」(6.6%)、「自習室を利用する」(5.1%)となっています。

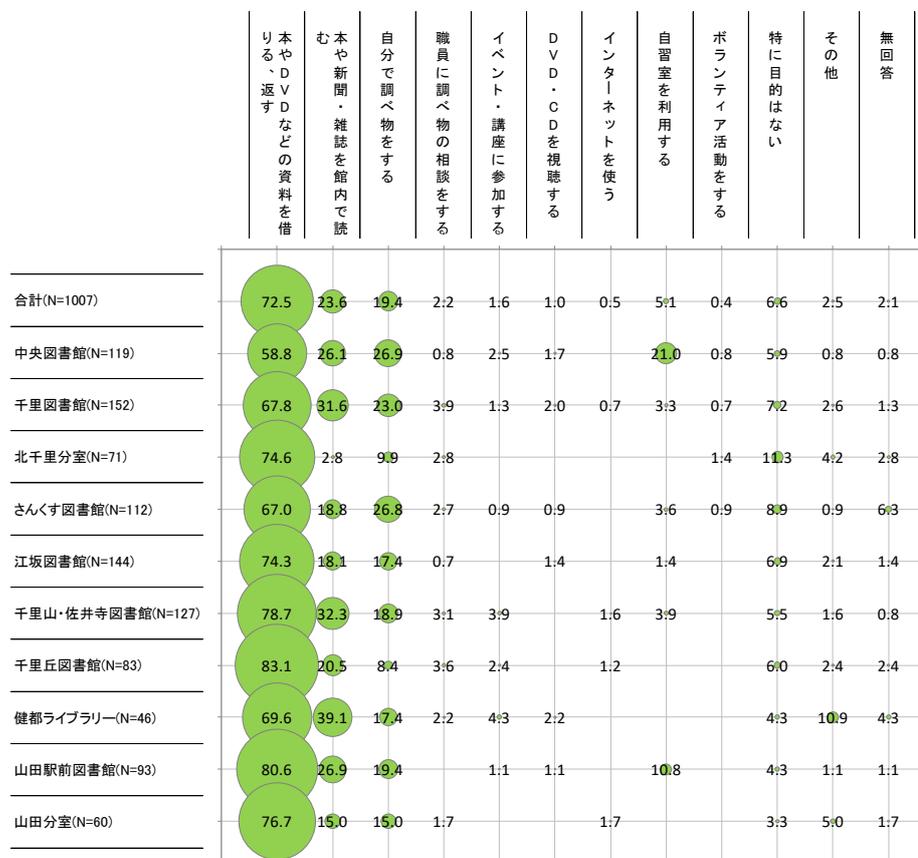
問12-2 (年齢別) 図書館の利用目的



【年齢別】

年齢別に図書館の利用目的をみると、「本やDVDなどの資料を借り、返す」はすべての年齢で最も高くなっています。

問12-2 (主に利用する図書館別) 図書館の利用目的



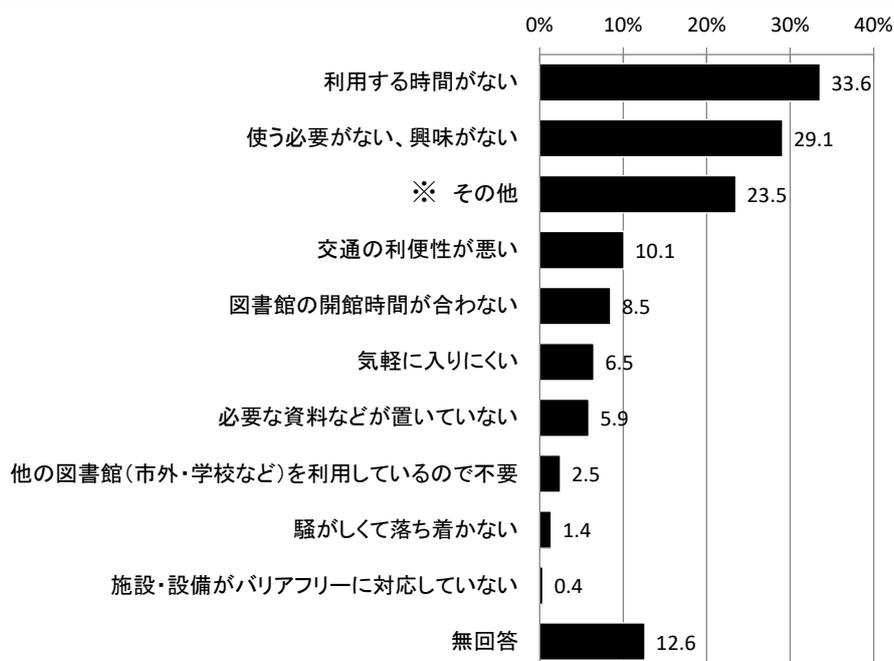
【主に利用する図書館別】

主に利用する図書館別に図書館の利用目的をみると、「本や新聞・雑誌を館内で読む」は、「健都ライブラリー」(39.1%)、「千里山・佐井寺図書館」(32.3%)、「千里図書館」(31.6%)と他の図書館より高くなっています。

「自分で調べ物をする」は、「中央図書館」(26.9%)、「さんくす図書館」(26.8%)、「千里図書館」(23.0%)と他の図書館より高くなっています。

(5) 図書館の利用頻度が少ない、利用しない・しなくなった理由

問13 問11で「7」、「8」、または問12で「11」を選ばれた方のみにおたずねします。
 図書館の利用頻度(ひんど)が少ない、利用しない・しなくなった理由は何ですか。
 (〇はいくつでも) (N=834)



※ 「その他」の内容

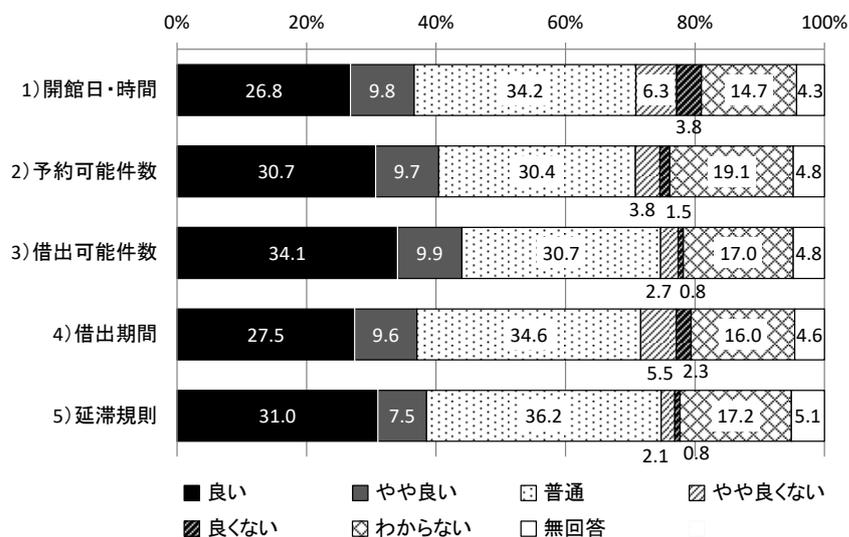
具体的な内容として194件(回答者194人)の回答がありました。最も多かったのは、「コロナ禍」(40件)で、続いて「図書館への不満(雰囲気が悪い、図書が少ない、他人が触って衛生的でない)」(33件)、「本屋で購入」(17件)、「子どもの成長」(17件)、「自己都合」(15件)、「高齢」(13件)、「図書館情報の不足(どこにあるか不明)」(9件)、「病気」(9件)、「交通不便」(9件)、「返却が面倒」(7件)となっています。

図書館の利用頻度が少ない、利用しない・しなくなった理由については、高い順に、「利用する時間がない」(33.6%)、「使う必要がない、興味がない」(29.1%)、「その他」(23.5%)、「交通の利便性が悪い」(10.1%)、「図書館の開館時間が合わない」(8.5%)、「気軽に入りにくい」(6.5%)、「必要な資料などが置いていない」(5.9%)、「他の図書館(市外・学校など)を利用しているので不要」(2.5%)、「騒がしくて落ち着かない」(1.4%)、「施設・設備がバリアフリーに対応していない」(0.4%)、「無回答」(12.6%)となっています。

5 図書館サービスの満足度

(1) 吹田市の図書館サービスの評価

問14 吹田市の図書館サービスについて、あなたはどのように思われますか。
(各項目とも○は1つ)



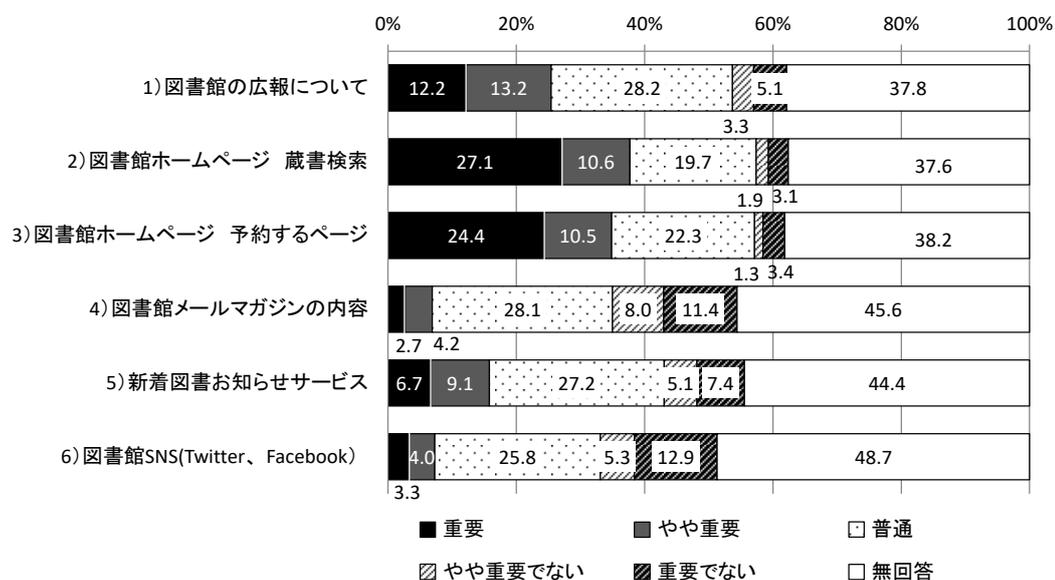
吹田市の図書館サービスの評価について、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』でみると、1) 開館日・時間は36.6%、2) 予約可能件数は40.4%、3) 借出可能件数は44.0%、4) 借出期間は37.1%、5) 延滞規則は38.5%となっています。「普通」は、1) 開館日・時間、2) 予約可能件数、3) 借出可能件数、4) 借出期間、5) 延滞規則とも30%台(30.4~36.2%)で、どの項目も、「良い」、「やや良い」、「普通」を合わせると約7割以上となっています。

また、「良くない」と「やや良くない」を合わせた『良くない』でみると、1) 開館日・時間、2) 予約可能件数、3) 借出可能件数、4) 借出期間、5) 延滞規則とも11%未満となっています。

(2) 吹田市の図書館のサービスの広報活動の重要度と満足度

問15 吹田市の図書館サービスの広報活動について、あなたの重要度と満足度を選んでください。(各項目とも○は1つ)
使ったことがない・見たことがない場合は「6」を選んでください。

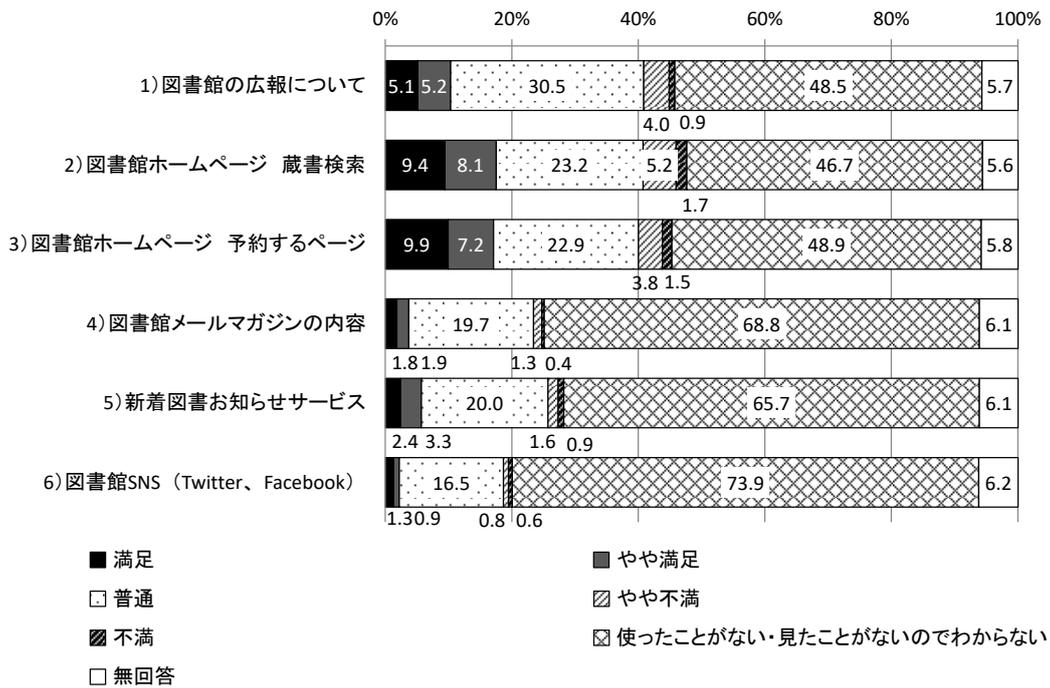
問15 広報活動の重要度



【重要度】

吹田市の図書館のサービスの広報活動の重要度について、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』でみると、高い順位に、2) 図書館ホームページ 蔵書検索は37.7%、3) 図書館ホームページ 予約するページは34.9%、1) 図書館の広報は25.4%ですが、5) 新着図書お知らせサービスは15.8%、6) 図書館 SNS(Twitter、Facebook) 7.3%、4) 図書館メールマガジンの内容は6.9%となっています。

問15 図書館サービス（広報活動）の満足度



【満足度】

吹田市の図書館のサービスの広報活動の満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』でみると、高い順位に、2) 図書館ホームページ 蔵書検索は17.5%、3) 図書館ホームページ 予約するページは17.1%、1) 図書館の広報は10.3%で、5) 新着図書お知らせサービス、6) 図書館 SNS (Twitter、Facebook)、4) 図書館メールマガジンの内容は、6%未満となっています。

各項目の「使ったことがない・見たことがないのでわからない」は、6) 図書館 SNS (Twitter、Facebook) (73.9%)、4) 図書館メールマガジンの内容 (68.8%)、5) 新着図書お知らせサービス (65.7%) で、1) 図書館の広報、2) 図書館ホームページ 蔵書検索、3) 図書館ホームページ 予約するページは40%台となっています。

【図書館サービス（広報活動）の重要度と満足度の分析】

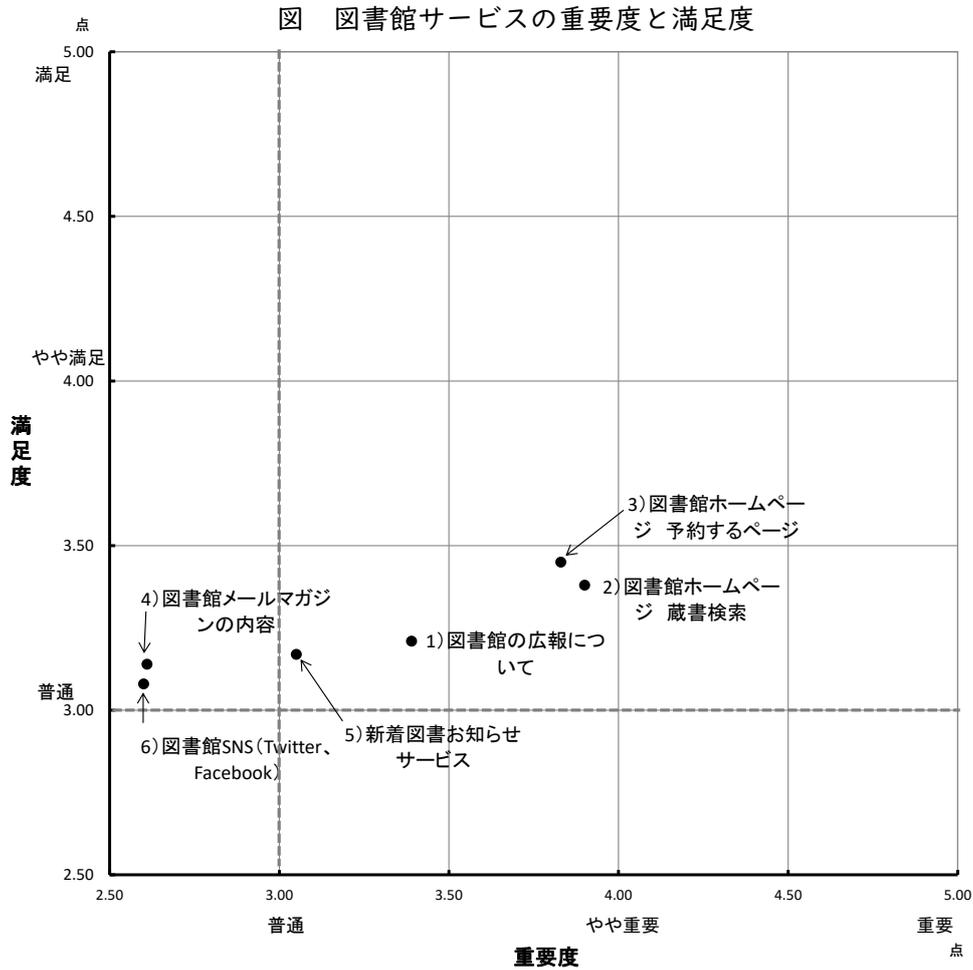


表 図書館サービス（広報活動）の重要度と満足度

図書館サービス（広報活動）	重要度（点）	満足度（点）
1) 図書館の広報について（休館やイベント等の情報が届いているか）	3.39	3.21
2) 図書館ホームページ 蔵書検索	3.90	3.38
3) 図書館ホームページ 予約するページ	3.83	3.45
4) 図書館メールマガジンの内容	2.61	3.14
5) 新着図書お知らせサービス	3.05	3.17
6) 図書館 SNS（Twitter、Facebook）	2.60	3.08

【重要度】の点数化

回答項目別に、「重要」＝5点、「やや重要」＝4点、「普通」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点を配点し、各項目の回答数で加重平均する。無回答を除きます。

【満足度】の点数化

回答項目別に、「満足」＝5点、「やや満足」＝4点、「普通」＝3点、「やや不満」＝2点、「不満」＝1点を配点し、各項目の回答数で加重平均する。無回答を除きます。

吹田市の図書館のサービスの広報活動の重要度（点数化）と満足度（点数化）で見ると、重要度が他のサービスより高い 2) 図書館ホームページ 蔵書検索（3.90 点）と 3) 図書館ホームページ 予約するページ（3.83 点）については、満足度も 3.38 点、3.45 点と高くなっています。

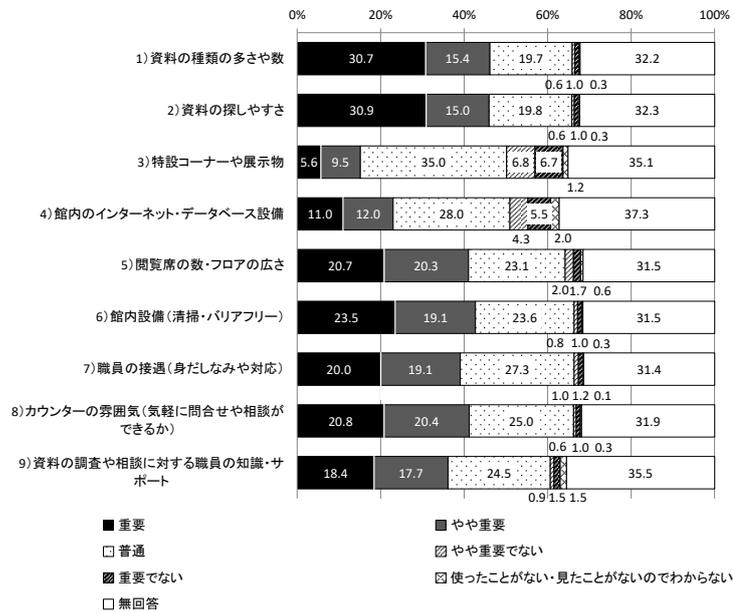
次いで重要度の高い 1) 図書館の広報について（休館やイベント等の情報が届いているか）（3.39 点）と 5) 新着図書お知らせサービス（3.05 点）については、満足度が 3.21 点、3.17 点となっています。

他のサービスより重要度がより低い 4) 図書館メールマガジンの内容（2.61 点）と 6) 図書館 SNS（Twitter、Facebook）（2.60 点）は、満足度が 3.14 点、3.08 点とやや低くなっています。

すべてのサービスにおいて満足度が 3.00 点を超えており、実際の利用者の評価はおおむね良好といえます。

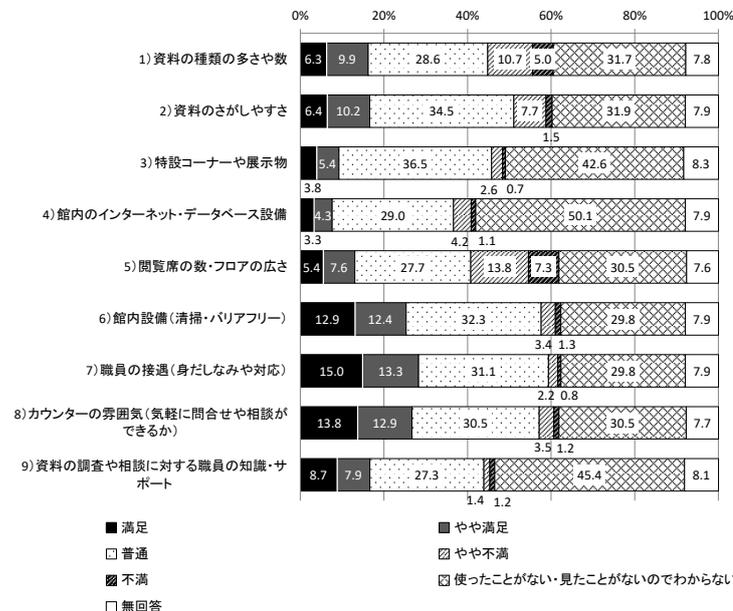
問16 吹田市内で主に利用している図書館（問12で回答された図書館）のサービスについて、あなたの重要度と満足度を選んでください。（各項目とも○は1つ）

【重要度】



「重要」と「やや重要」を合わせた『重要』は、3)特設コーナーや展示物(15.1%)と4)館内のインターネット・データベース設備(23.0%)を除き、他のサービスは36.1~46.1%となっています。

【満足度】



「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』は7.6~28.3%で、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』は2.6~21.1%となっています。

図 主に利用している図書館の重要度と満足度の分布
全館（8館2分室）の平均

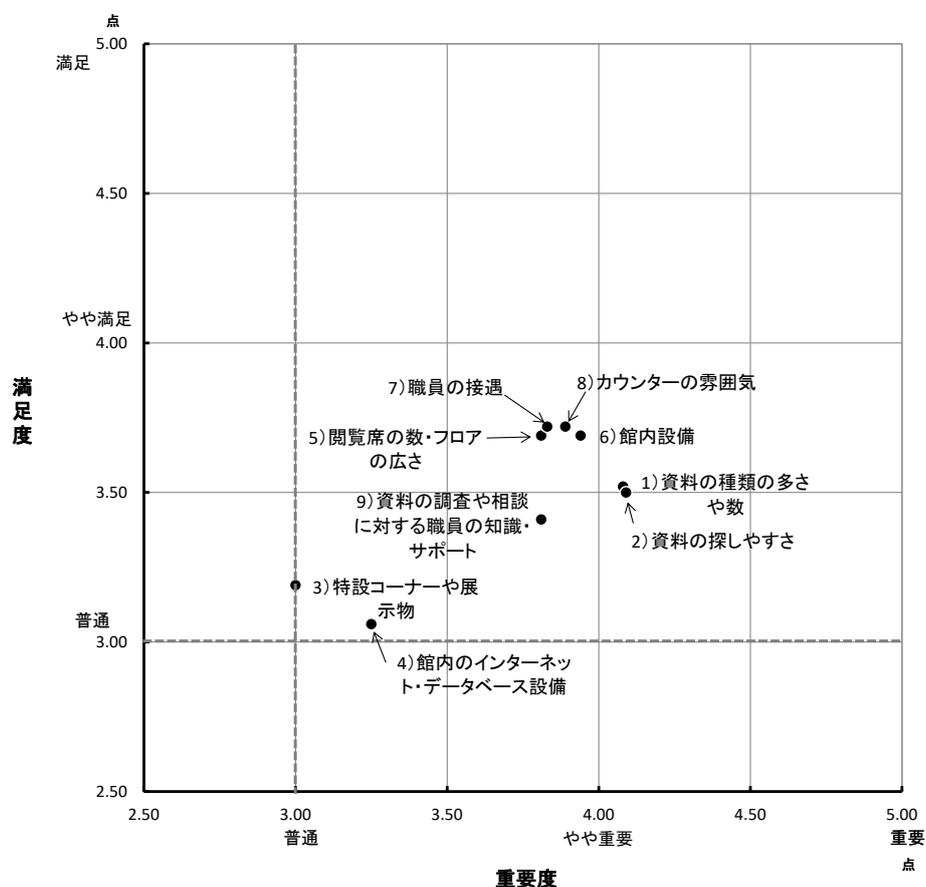


表 全館（8館2分室）の重要度と満足度の平均値

図書館サービス	重要度 (点)	満足度 (点)
1) 資料の種類や数	4.08	3.52
2) 資料の探しやすさ	4.09	3.50
3) 特設コーナーや展示物	3.00	3.19
4) 館内のインターネット・データベース設備	3.25	3.06
5) 閲覧席の数・フロアの広さ	3.81	3.69
6) 館内設備 (清掃・バリアフリー)	3.94	3.69
7) 職員の接遇 (身だしなみや対応)	3.83	3.72
8) カウンターの雰囲気 (気軽に問合せや相談ができるか)	3.89	3.72
9) 資料の調査や相談に対する職員の知識・サポート	3.81	3.41

【重要度】の点数化

回答項目別に、「重要」＝5点、「やや重要」＝4点、「普通」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点を配点し、各項目の回答数で加重平均する。無回答を除きます。

【満足度】の点数化

回答項目別に、「満足」＝5点、「やや満足」＝4点、「普通」＝3点、「やや不満」＝2点、「不満」＝1点を配点し、各項目の回答数で加重平均する。無回答を除きます。

全館（8館2分室）の平均で見ると、図書館サービスの重要度はすべて3.00点（普通）以上となっていますが、「3）特設コーナーや展示物」（3.00点）、「4）館内のインターネット・データベース設備」（3.25点）は他のサービスより低くなっています。

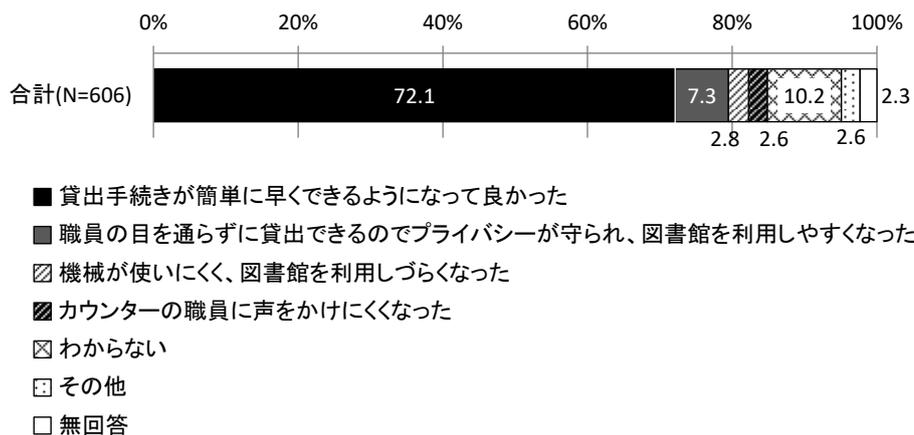
満足度はすべて3.00点（普通）以上ですが、「3）特設コーナーや展示物」（3.19点）、「4）館内のインターネット・データベース設備」（3.06点）は他のサービスより低くなっています。

重要度の高い7つの図書館サービスについての満足度は3.41点以上で、特に8）カウンターの雰囲気（気軽に問合せや相談ができるか）、7）職員の接遇（身だしなみや対応）、5）閲覧席の数・フロアの広さ、6）館内設備（清掃・バリアフリー）の満足度は高くなっています。

3）特設コーナーや展示物、4）館内のインターネット・データベース設備は重要度、満足度とも他のサービスより低くなっています。

(3) 自動貸出機や予約棚について

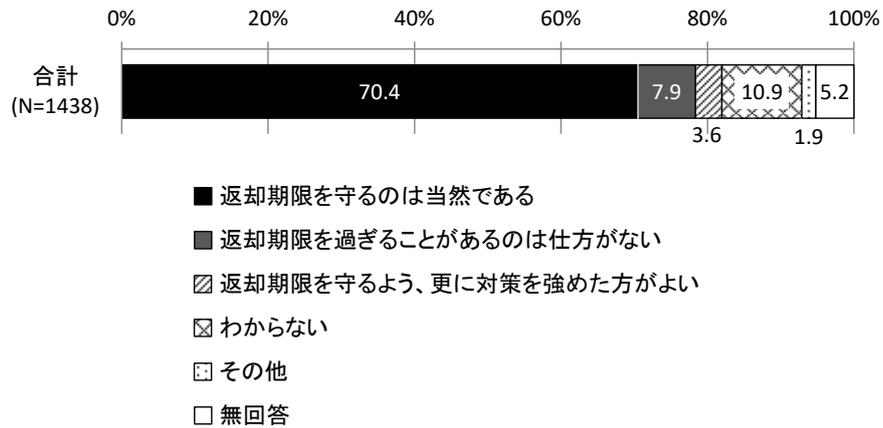
問17 図書館では自動貸出機や予約棚を導入し、利用者ご自身で貸出手続きができるようになりました。この対応について、あなたのご意見に近いものを選んでください。
(○は1つ)



『年1回以上利用している』回答者の自動貸出機や予約棚については、「貸出手続きが簡単に早くできるようになって良かった」(72.1%)、「職員を介さずに貸出できるのでプライバシーが守られ、図書館を利用しやすくなった」(7.3%)となっています。

(4) 延滞資料を持っている利用者への貸出制限について

問18 今年の1月から延滞(えんたい)資料(返却期限が過ぎている本やDVDなど)をお持ちの利用者は、新たな貸出や予約ができなくなりました。
この対応について、あなたのご意見に近いものを選んでください。(○は1つ)

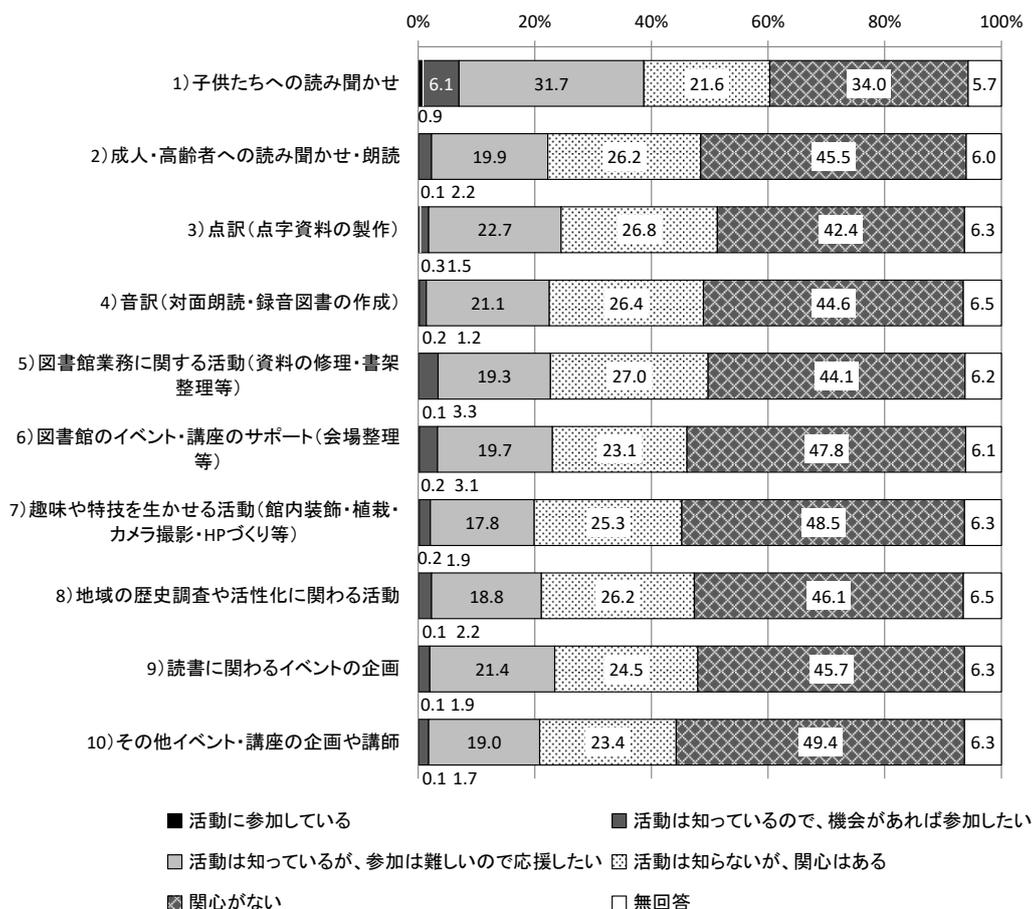


延滞資料を持っている利用者への貸出制限については、「返却期限を守るのは当然である」(70.4%)、「返却期限を過ぎることがあるのは仕方がない」(7.9%)、「わからない」(10.9%)となっています。

6 図書館での市民活動について

(1) 図書館での市民活動への関心や参加

問19 吹田市内外問わず、図書館での市民活動（ボランティア活動）に、関心や参加の意向はありますか。（各項目とも○は1つ）



1) 子供たちへの読み聞かせについては、「活動に参加している」（0.9%）、「活動は知っているが、機会があれば参加したい」（6.1%）を合わせた『活動に参加・参加意向のある方』は 7.0%ですが、「活動は知っているが、参加は難しいので応援したい」（31.7%）を加えると、38.7%が活動に好意的です。

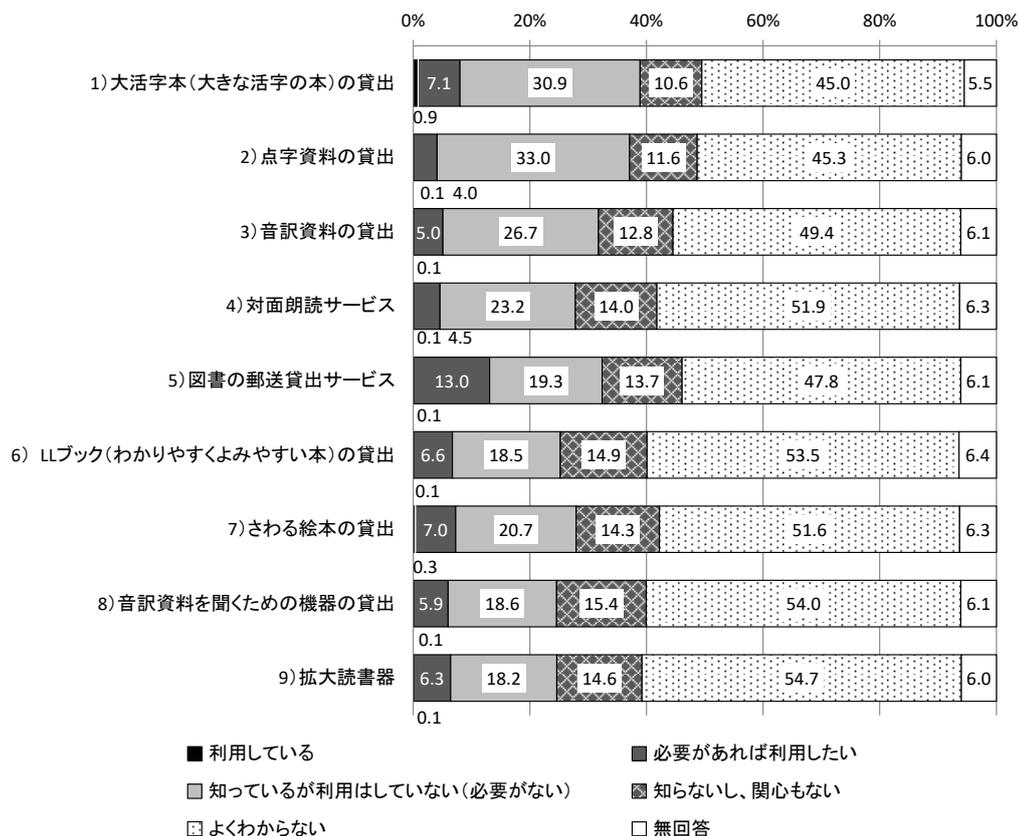
2) 成人・高齢者への読み聞かせ・朗読、3) 点訳（点字資料の製作）、4) 音訳（対面朗読・録音図書の作成）、5) 図書館業務に関する活動（資料の修理・書架整理等）、6) 図書館のイベント・講座のサポート（会場整理等）、7) 趣味や特技を生かせる活動（館内装飾・植栽・カメラ撮影・HPづくり等）、8) 地域の歴史調査

や活性化に関わる活動、9) 読書に関わるイベントの企画、10) その他イベント・講座の企画や講師の9つの活動は、「活動に参加している」と「活動は知っているので、機会があれば参加したい」を合わせた『活動に参加・参加意向のある方』は4%未満、「活動は知っているが、参加は難しいので応援したい」を加えても、活動に好意的な割合は25%未満となっており、1) 子供たちへの読み聞かせとは異なります。

7 障がい者サービスについて

(1) 図書館の障がい者サービスへの関心や認知

問20 吹田市立図書館での障がい者サービスについて、知っていますか。また利用されていますか。(各項目とも○は1つ)



障がい者サービスについては、「利用している」、「必要があれば利用したい」、「知っているが利用していない(必要がない)」を合わせた『関心・認知』でみると、高い順位に、1) 大活字本(大きな活字の本)の貸出(38.9%)、2) 点字資料の貸出(37.1%)、5) 図書の郵送貸出サービス(32.4%)、3) 音訳資料の貸出(31.8%)、7) さわる絵本の貸出(28.0%)、4) 対面朗読サービス(27.8%)となっています。

9つの障がい者サービスについては、「知らないし、関心もない」、「よくわからない」を合わせると55.6~69.4%となっています。

8 これからの吹田市立図書館

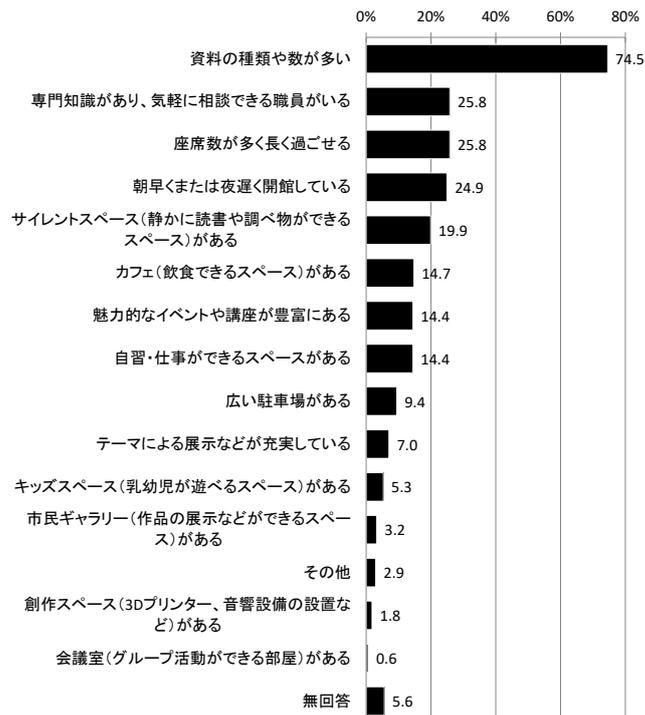
(1) 魅力的な図書館

問21 あなたにとって魅力的な図書館はどれですか。(〇は3つ以内)



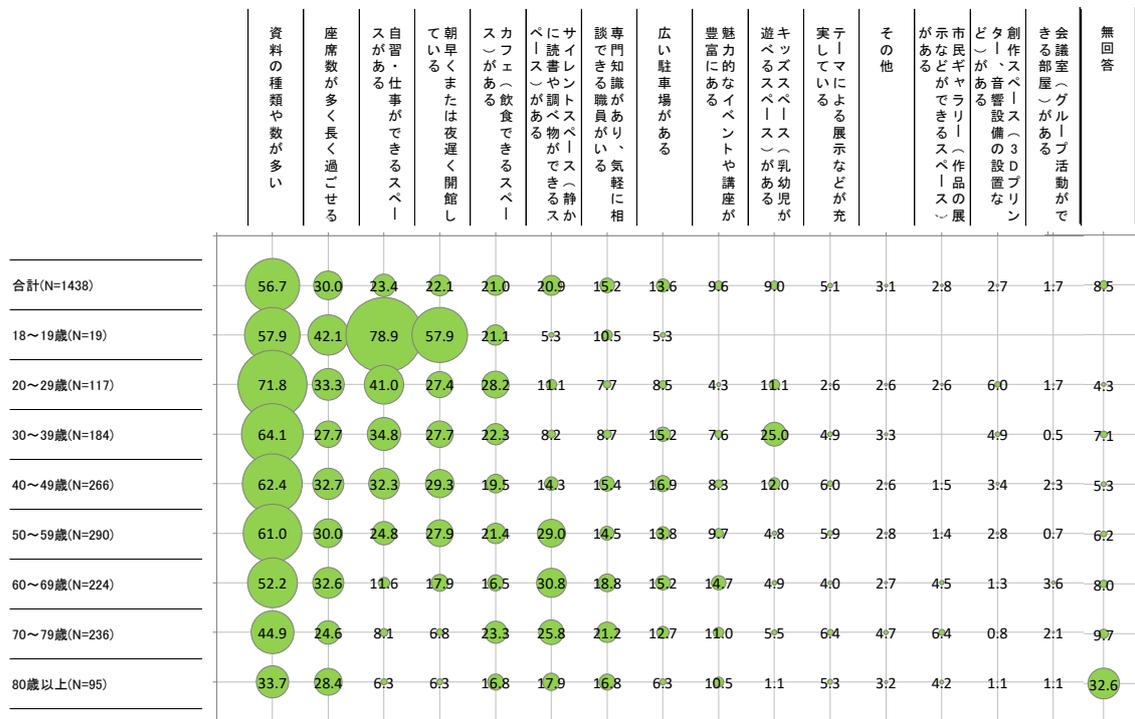
【参考】

来館者アンケート結果



魅力的な図書館については、高い順に、「資料の種類や数が多い」(56.7%)、「座席数が多く長く過ごせる」(30.0%)、「自習・仕事ができるスペースがある」(23.4%)、「朝早くまたは夜遅く開館している」(22.1%)、「カフェ（飲食できるスペース）がある」(21.0%)、「サイレントスペース（静かに読書や調べ物ができるスペース）がある」(20.9%)、「専門知識があり、気軽に相談できる職員がいる」(15.2%)、「広い駐車場がある」(13.6%)となっています。

問 2 1 (年齢別) 魅力的な図書館



【年齢別】

18～19歳では、高い順に、「自習・仕事ができるスペースがある」(78.9%)、「資料の種類や数が多い」(57.9%)、「朝早くまたは夜遅く開館している」(57.9%)となっています。

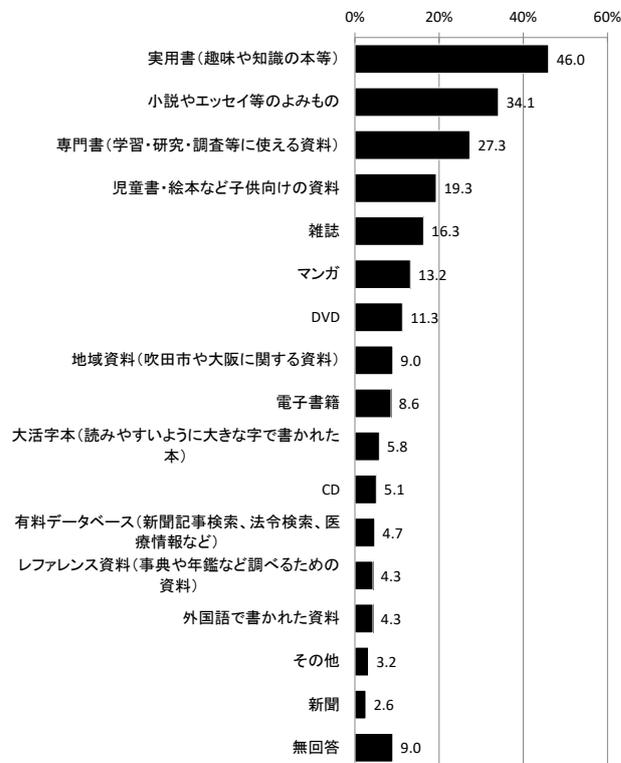
20～49歳では、「資料の種類や数が多い」(約62～71%)が最も高く、「自習・仕事ができるスペースがある」(約32～41%)、「座席数が多く長く過ごせる」(約27～33%)となっています。30～39歳では「キッズスペース（乳幼児が遊べるスペース）がある」(25.0%)があげられています。

50～69歳では、「資料の種類や数が多い」(約52～61%)が最も高く、「座席数が多く長く過ごせる」(約30～32%)、「サイレントスペース（静かに読書や調べ物ができるスペース）がある」(約29～30%)となっています。

70歳以上では、「資料の種類や数が多い」(約33～44%)が最も高いですが他の年齢より低く、「座席数が多く長く過ごせる」「サイレントスペース（静かに読書や調べ物ができるスペース）がある」「カフェ（飲食できるスペース）がある」「専門知識があり、気軽に相談できる職員がいる」などもあげられています。

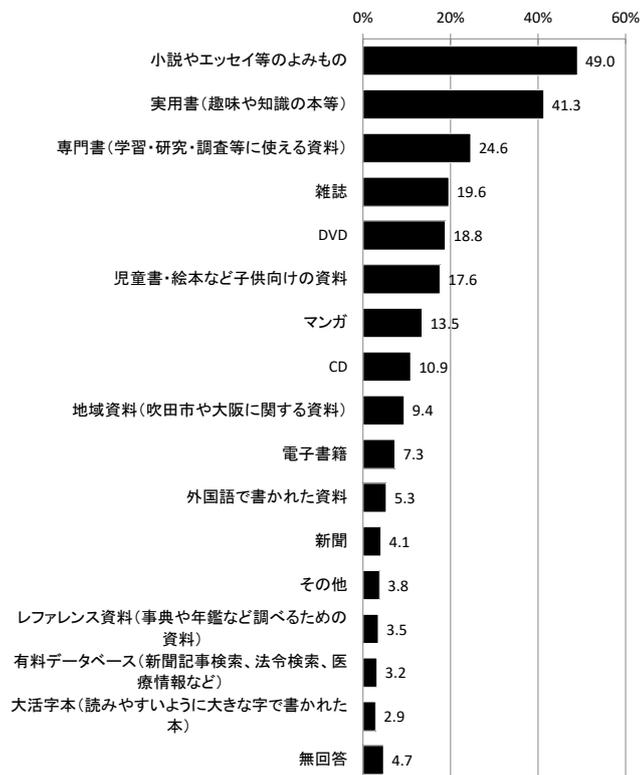
(2) 吹田市立図書館で充実してほしい資料

問 2 2 吹田市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料は何ですか。(〇は3つ以内)



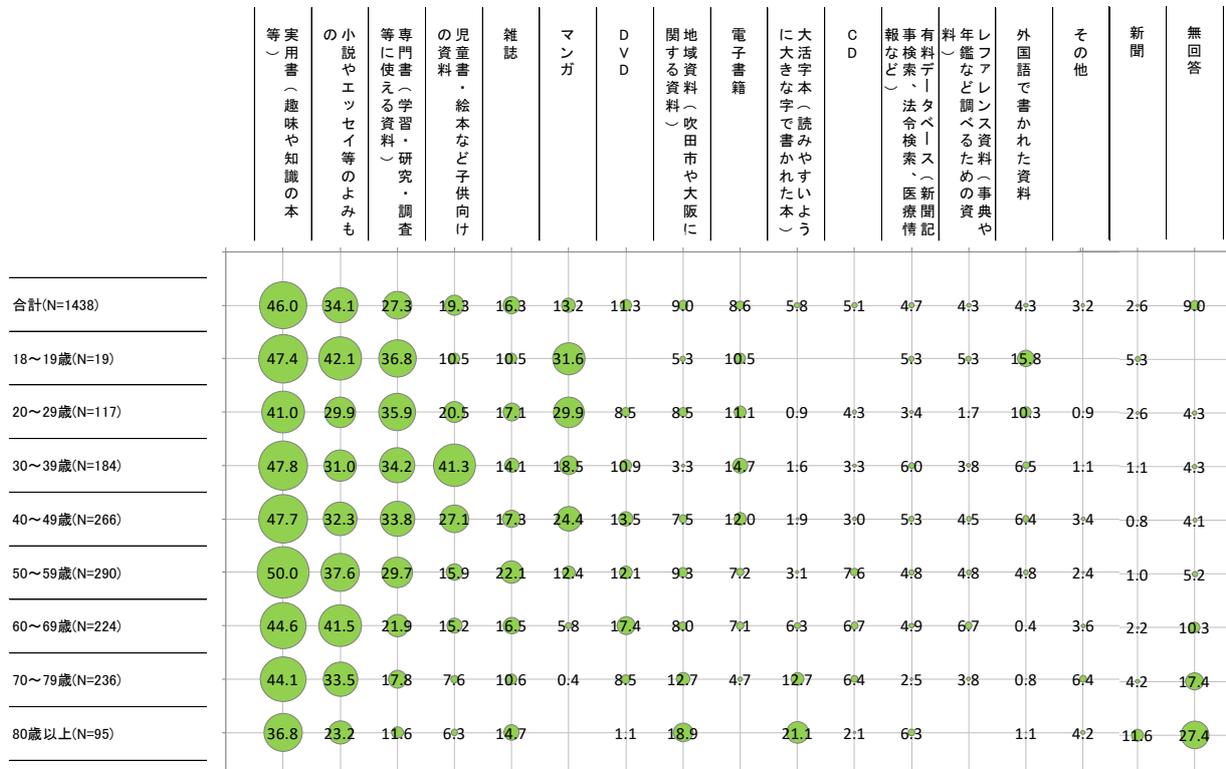
【参考】

来館者アンケート結果



吹田市立図書館で充実してほしい資料については、高い順に、「実用書（趣味や知識の本等）」（46.0%）、「小説やエッセイ等のよみもの」（34.1%）、「専門書（学習・研究・調査等に使える資料）」（27.3%）、「児童書・絵本など子供向けの資料」（19.3%）、「雑誌」（16.3%）、「マンガ」（13.2%）、「DVD」（11.3%）、「地域資料（吹田市や大阪に関する資料）」（9.0%）、「電子書籍」（8.6%）、「大活字本（読みやすいように大きな字で書かれた本）」（5.8%）、「CD」（5.1%）、「有料データベース（新聞記事検索、法令検索、医療情報など）」（4.7%）、「レファレンス資料（事典や年鑑など調べるための資料）」（4.3%）、「外国語で書かれた資料」（4.3%）、「その他」（3.2%）、「新聞」（2.6%）、「無回答」（9.0%）となっています。

問 2 2 (年齢別) 今後充実したら良い資料



【年齢別】

すべての年齢で「実用書（趣味や知識の本等）」（約 36～50%）が最も高くなっています。

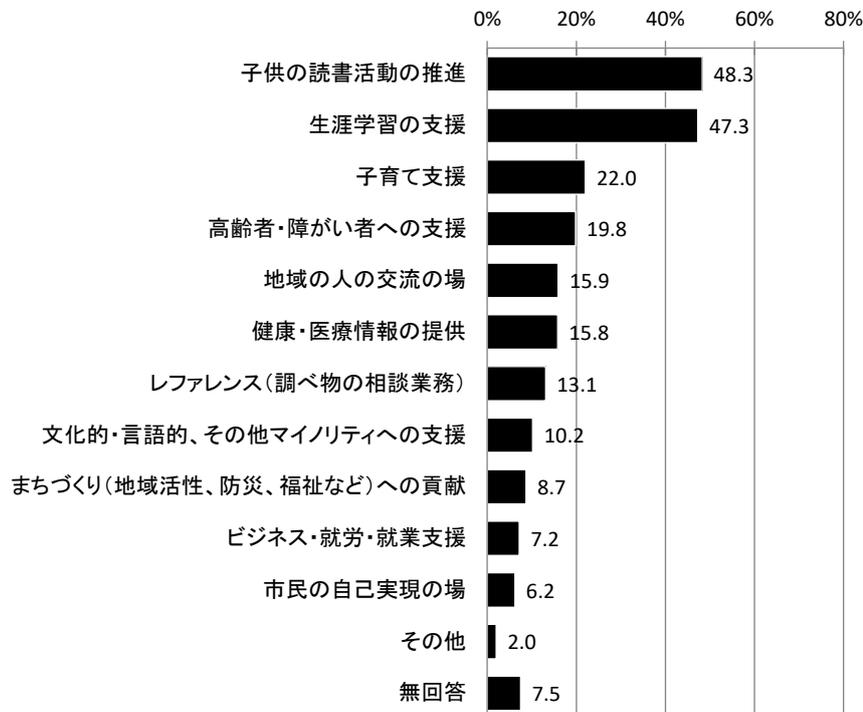
18～19 歳、50～79 歳では「小説やエッセイ等のよみもの」（約 33～42%）、20～29 歳、40～49 歳では「専門書（学習・研究・調査等に使える資料）」（約 33～35%）、30～39 歳では「児童書・絵本など子供向けの資料」（41.3%）が 2 番目に高くなっています。

18～19 歳、20～29 歳では、「外国語で書かれた資料」が 10%以上となっています。

18～49 歳では、「電子書籍」が 10%以上となっています。

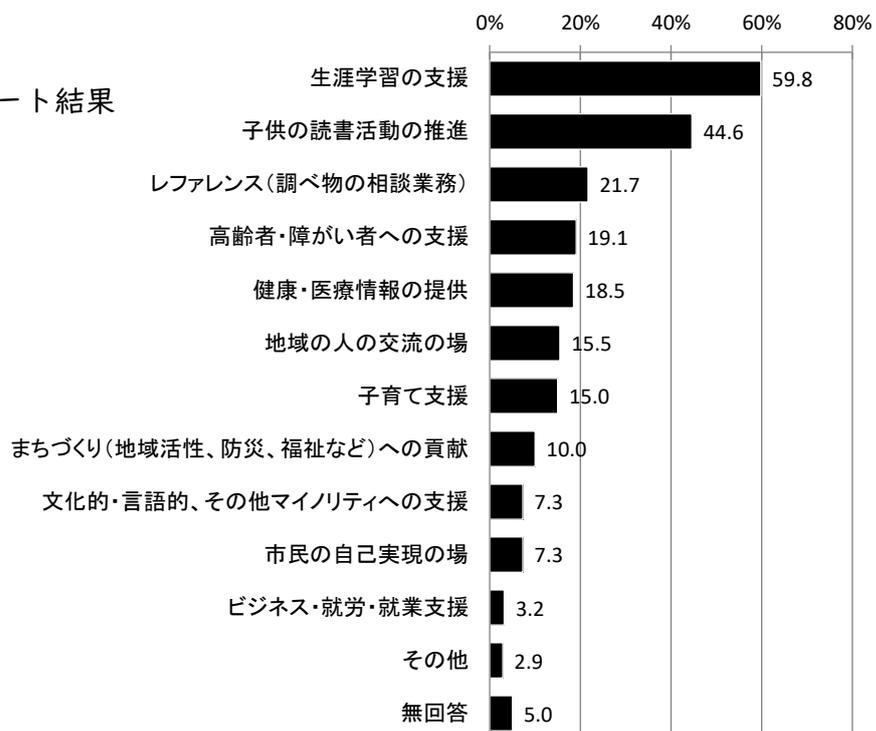
(3) 吹田市立図書館で今後重要となる役割

問23 吹田市立図書館の役割として、今後重要と思われるのはどれですか。
(○は3つ以内)



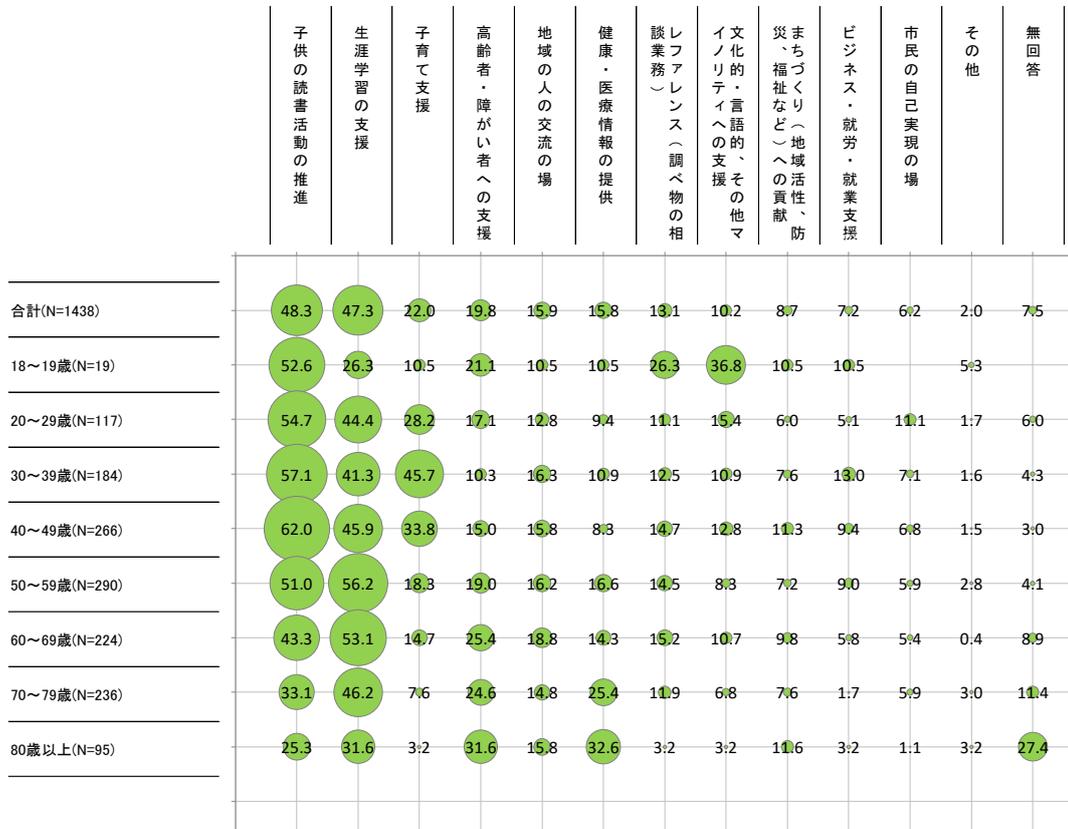
【参考】

来館者アンケート結果



吹田市立図書館で今後重要となる役割については、高い順に、「子供の読書活動の推進」(48.3%)、「生涯学習の支援」(47.3%)、「子育て支援」(22.0%)、「高齢者・障がい者への支援」(19.8%)、「地域の人との交流の場」(15.9%)、「健康・医療情報の提供」(15.8%)、「レファレンス(調べ物の相談業務)」(13.1%)、「文化的・言語的、その他マイノリティへの支援」(10.2%)、「まちづくり(地域活性、防災、福祉など)への貢献」(8.7%)、「ビジネス・就労・就業支援」(7.2%)、「市民の自己実現の場」(6.2%)となっています。

問23 (年齢別) 図書館の重要な役割



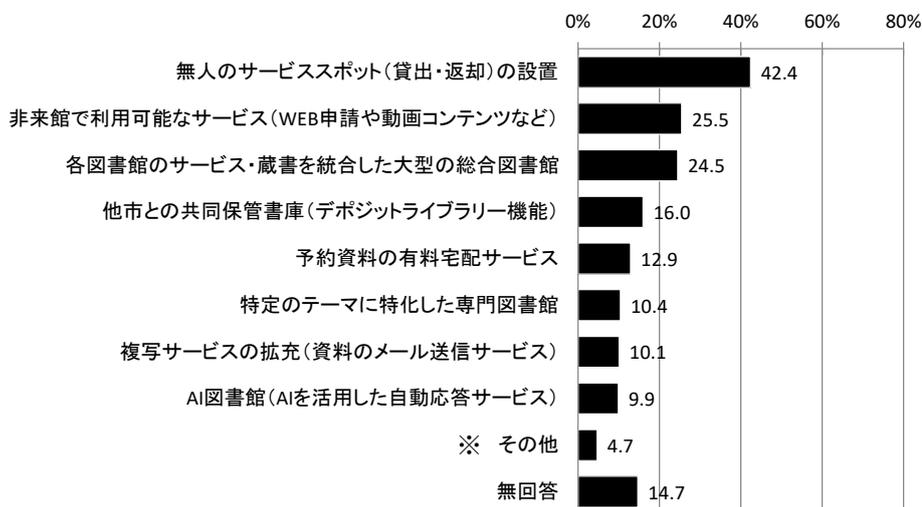
【年齢別】

18～49歳では「子供の読書活動の推進」、50～79歳では「生涯学習の支援」、80歳以上では「健康・医療情報の提供」が最も高くなっています。

18～19歳では「文化的・言語的、その他マイノリティへの支援」、20～29歳、40～49歳では「生涯学習の支援」、30～39歳では「子育て支援」、80歳以上では「高齢者・障がい者への支援」・「生涯学習の支援」が2番目となっています。

(4) 吹田市立図書館で今後必要なサービス・機能

問 2 4 吹田市立図書館で、今後必要と思われるサービス・機能はどれですか。
(○は3つ以内)

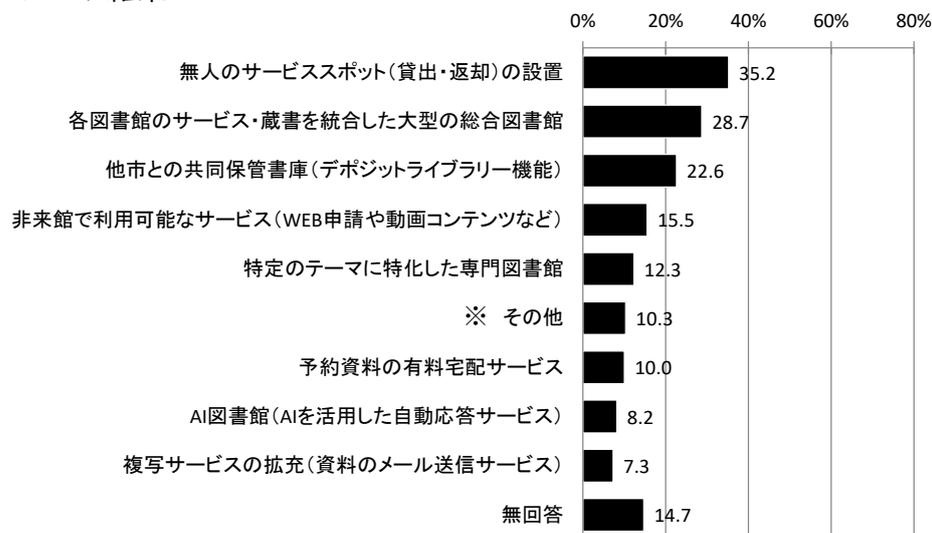


※ 「その他」の内容

具体的な内容としては 49 件 (回答者 48 人) の回答がありました。最も多かったのは、「移動図書館」(5 件) と「他図書館の利用」(5 件) で、続いて「自習・仕事スペース」(4 件)、「宅配・返却システム」(3 件)、「WEB図書館」(2 件)、「職員対応」(2 件)、「電子書籍の充実」(2 件)、「図書館数・規模の維持、増設」(2 件)、「備品」(2 件)、「利用時間」(2 件)、「その他」(20 件) となっています。

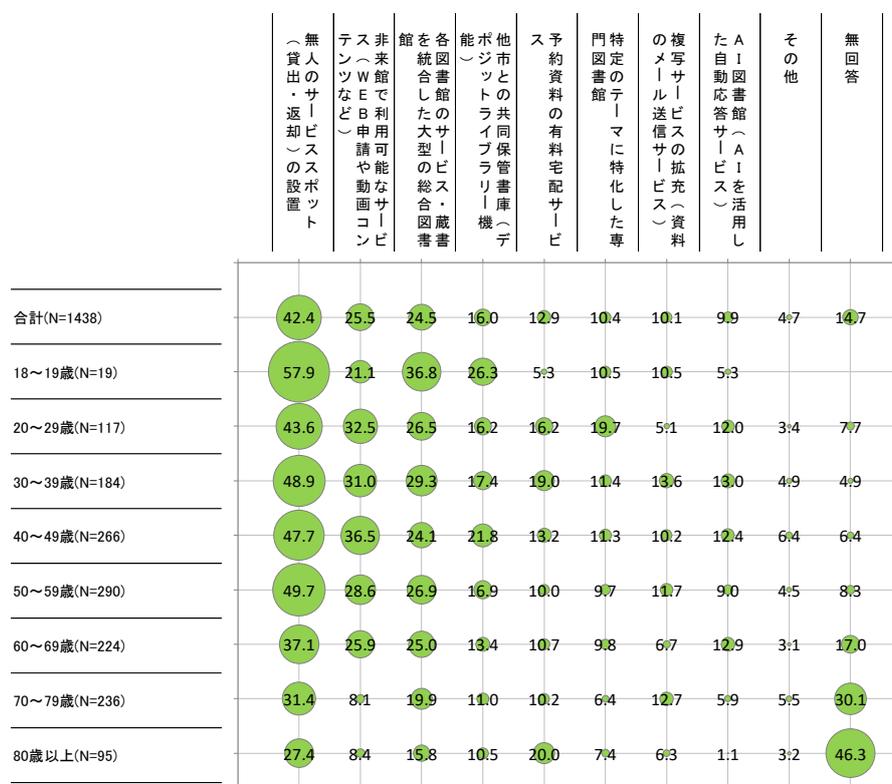
【参考】

来館者アンケート結果



吹田市立図書館で今後必要なサービス・機能については、高い順に、「無人のサービススポット（貸出・返却）の設置」（42.4%）、「非来館で利用可能なサービス（WEB申請や動画コンテンツなど）」（25.5%）、「各図書館のサービス・蔵書を統合した大型の総合図書館」（24.5%）、「他市との共同保管書庫（デポジットライブラリー機能）」（16.0%）、「予約資料の有料宅配サービス」（12.9%）、「特定のテーマに特化した専門図書館」（10.4%）、「複写サービスの拡充（資料のメール送信サービス）」（10.1%）となっています。

問 2 4 (年齢別) 今後必要と思われるサービス・機能



【年齢別】

すべての年齢では、「無人のサービススポット（貸出・返却）の設置」が最も高くなっています。

18~19歳、70~79歳では「各図書館のサービス・蔵書を統合した大型の総合図書館」が、20~69歳では「非来館で利用可能なサービス（WEB申請や動画コンテンツなど）」、80歳以上では「予約資料の有料宅配サービス」が2番目となっています。

9 図書館についてのご意見・ご要望

問25 図書館について、ご意見・ご要望がございましたら、下記にお書きください。

回答者からは528件のご意見・ご要望が寄せられました。多い順にみると、「5. 図書視聴覚資料の内容や装備に関すること」(89件)が最も多く、次いで、「4. 貸出規則や施設利用のお願いに関すること」(85件)、「3. 建築・設備について」(74件)、「2. コンピュータシステムに関すること」(43件)、「1. 職員・スタッフの窓口や電話での対応について」(26件)、「8. 管理運営について」(24件)、「6. 行事、掲示、広報について」(17件)、「7. 利用者のマナー」(13件)、「9. その他」(157件)となっています。

ご意見・ご要望は、「(仮称)吹田市立図書館サービス基本計画」(策定予定)の貴重な資料として活用させていただきます。

1. 職員・スタッフの窓口や電話での対応について	26件
司書に本を探してもらったことがある。専門知識のある職員にいてほしい。	
明るく、親切な対応が嬉しい。	
対応が冷たい職員もいて、カウンターに話しかけにくい。	
ほか。	
2. コンピュータシステムに関すること	43件
ホームページから予約や所蔵状況が確認できて便利だ。	
ホームページから未所蔵の資料の予約ができるようにしてほしい。	
利用(貸出)の履歴を残してほしい。	
借出カードの発行がオンラインでできるなど、非来館でのサービスを充実させてほしい。	
自動貸出機の読み取りが悪い時があるので、改善してほしい。	
ほか。	
3. 建築・設備について	74件
図書館が地域ごとにあり便利だ。	
古くて狭い図書館は拡充し、空調やトイレも新しくしてほしい。	
仕事や自習ができるスペースや、静かに読書できる席を設けてほしい。	
広い駐車場を確保してほしい。	
明るく清潔感があり、居心地の良い図書館がほしい。	
資料の並びや各種コーナーをもっと分かりやすくしてほしい。	
ほか。	

4. 貸出規則や施設利用のお願いに関すること	85件
市内であればどの図書館でも予約・返却できるのが便利だ。	
開館時間を延長してほしい（朝早くまたは夜遅く）。	
自動車文庫を復活させてほしい。	
返却ポストを駅など便利なところに設置してほしい。また開館時間中も使えるようにしてほしい。	
予約資料の件数を増やしてほしい。	
貸出期間を長くしてほしい。	
館内で携帯電話の通話が可能なスペースを設けてほしい。	
ほか。	

5. 図書視聴覚資料の内容や装備に関すること	89件
児童書や視聴覚資料（DVD・CD）が充実している。	
電子図書を充実してほしい。これから期待している。	
資料数が少ない。新刊書を充実させて、早く借りられるようにしてほしい。	
予約の多い資料は、複本を増やして回転を速くしてほしい。	
一般では入手にくい資料や専門書、データベースを充実させてほしい。	
本の汚れや、損傷しているものが目立つ。	
ほか。	

6. 行事、掲示、広報について	17件
読み聞かせの行事に参加することで、子供の友達や親同士のコミュニティが広がって良かった。	
機会があればボランティア活動にも参加してみたい。	
知らないサービスがたくさんあるので、もっとPRが必要だと思う。	
SNSも活用して、図書館の魅力やサービスをPRしてほしい。	
ほか。	

7. 利用者のマナー	13件
座席を長時間占有している利用者がある。	
館内を走り回ったり、大騒ぎする子どもに対しては職員が注意してほしい。	
資料を丁寧に扱ってほしい。	
ほか。	

8. 管理運営について	24件
高齢者、子供、障がい者、誰にでも利用しやすい図書館運営を目指してほしい。	
学校図書館との連携を強化してほしい。	
民間委託せずに、市の直営で運営してほしい。	
電子化が進んでいくので、図書館は専門的に特化した内容や、生涯学習を実現できる場として存在してほしい。	
ほか。	

9. その他	157件
子供が小さい時はよく利用していた。アンケートをきっかけに、コロナが落ち着いたらまた利用したい。	
本は自分で購入するので図書館は利用していないが、読書は重要と考えている。	
コロナ禍の制限のあり方を見直してほしい。休館はしないでほしい。	
図書館は市民の知的財産の一つ。本への興味を世代を通して発展させていくことが出来るような取組を続けてほしい。	
ほか。	